

現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）
<p>H 多部位</p> <p>多部位を取り扱う場合は、死亡診断書の I 欄の記載だけを考慮する。</p> <p>もし、死亡診断書に複数の部位の悪性新生物が記載の場合は、原発性と記載された部位または原発性か続発性か示されていない部位を選択する（上記 D, E および F 参照）。</p> <p>原発性と明示された部位を含まない多部位</p> <p>(a) I 欄にある部位のみを考慮するルール H があるが、もし、肺を除く一般的な転移部位の一つが I 欄に記載されており、もう一つの他の部位または形態学的型が、死亡診断書のどこかに記載されてあるならば、前記の一般的な転移部位以外の部位にコードする。しかし、もし、リンパ組織、造血組織または関連組織の悪性新生物が II 欄に記載されたならば、I 欄のみを考慮する。</p> <p>例 36: I (a) 胃のがん (b) 肝のがん 胃の悪性新生物 (C16.9) にコードする。経過からは肝が原発部位であると見られるが、一般的転移部位である肝からの胃への転移はありそうもないので、胃がんが肝へ転移したものと推定する。</p> <p>例 37: I (a) 腹膜がん II 乳癌 腹膜は一般的転移部位リストにあるため、続発性と考えられるので、乳房の悪性新生物 (C50.9) にコードする。</p> <p>(b) 『一つの部位「または」その他の部位』と記載された（または「または」が暗に示唆された）悪性新生物は、両部位を包含する分類項目にコードする。もし、適当な分類項目がなければ、含まれる形態学的型の部位不明にコードする。このルールは、それらが一般的な転移部位リストにあるかないかにかかわらず、すべてに適用する。</p> <p>例 38: I (a) 上行結腸または下行結腸の癌（腫） 結腸の悪性新生物、部位不明 (C18.9) にコードする。</p> <p>例 39: I (a) 腰椎または仙骨の骨肉腫</p>	<p>例 47: I (a) 腹膜からの転移性中皮腫</p> <p>腹膜は表 3 に記載されている部位の一つであるが、「腹膜からの転移性中皮腫」は腹膜が原発部位であること示している。腹膜中皮腫 (C45.1) にコードする。</p> <p>(b) 「～への転移」(metastatic to) する悪性新生物</p> <p>明示された部位「への転移」(metastatic to) として記載されている悪性新生物は、その部位が一般的転移部位リストにあるか否かにかかわらず、その明示された部位の続発性新生物と解釈すべきである。原発部位が明示されていない場合は、原発部位不明の悪性新生物 (C80.9) にコードする。</p> <p>例 48: I (a) 直腸への転移性癌（腫）</p> <p>「への転移」という表現は、直腸が続発部位であることを示している。原発部位が示されていないことから、原発部位不明の悪性新生物 (C80.9) を原死因としてコードする。</p> <p>C40-C47, C49 又は C70-C72 に分類できる形態が記載されている場合、その形態学的型の「部位不明」の細分類項目にコードする。</p> <p>例 49: I (a) 脳への転移性骨肉腫</p> <p>「脳への転移」という表現は、脳が続発部位であることを示している。しかし、骨肉腫は索引表で骨の悪性新生物として掲載されている。骨の悪性新生物、部位不明 (C41.9) を原死因としてコードする。</p> <p>(c) 部位 A から部位 B への転移性 (metastatic of site A to site B) 悪性新生物</p> <p>部位 A から部位 B への転移と記載されている悪性新生物は、部位 A を原発、部位 B を続発と解釈すべきである。</p> <p>例 50: I (a) 肝臓から脳への転移性がん II 食道がん</p> <p>「肝臓から脳への転移性」という表現は、悪性新生物が肝臓で発生し、脳に広がったことを示している。原死因を選択する場合、肝臓の原発性がん (C22.9) にコードする。</p> <p>肝臓が原発部位であるということが示されていることから、4.2.7.5 節 B (a)における、表 3 にある部位がその他の部位とともに</p>	<p>(b) <u>Malignant neoplasm "metastatic to"</u></p> <p><u>A malignant neoplasm described as "metastatic to" a specified site should be interpreted as a secondary neoplasm of the specified site, whether the site is on the list of common sites of metastases or not. Code to malignant neoplasm of unknown primary site (C80.9) if no primary site is indicated.</u></p> <p><u>Example 48: I (a) Metastatic carcinoma to the rectum</u></p> <p><u>The expression "metastatic to" indicates that rectum is a secondary site. Code malignant neoplasm of unknown primary site (C80.9) as underlying cause of death, since no primary site is indicated</u></p> <p><u>If a morphology classifiable to C40-C47, C49, or C70-C72 is reported, code to the "unspecified site" subcategory of that morphological type.</u></p> <p><u>Example 49: I (a) Metastatic osteosarcoma to brain</u></p> <p><u>The expression "metastatic to brain" indicates that brain is a secondary site. However, the osteosarcoma is indexed to malignant neoplasm of bone in the Alphabetical Index. Code unspecified malignant neoplasm of bone (C41.9) as underlying cause of death.</u></p> <p>(c) <u>Malignant neoplasm metastatic of site A to site B</u></p> <p><u>A malignant neoplasm described as metastatic of site A to site B should be interpreted as primary of site A and secondary of site B.</u></p> <p><u>Example 50: I (a) Metastatic cancer of liver to brain II Oesophageal cancer</u></p> <p><u>The expression "metastatic of liver to brain" indicates that the malignancy originated in the liver and spread to the brain. When selecting the underlying cause of death, code to primary cancer of liver (C22.9).</u></p> <p><u>Since there is an indication that liver is the primary site, the instructions in Section 4.2.7.5 B (a) on sites in Table 3 reported with other sites do not apply. Liver is still considered the primary site, even though oesophageal cancer is also mentioned.</u></p> <p>(d) <u>"Metastatic" malignant neoplasm on the list of common sites of metastases</u></p> <p><u>A "metastatic" neoplasm is considered secondary if the site is on the list of common sites of metastases.</u></p> <p><u>Example 51: I (a) Bowel obstruction (b) Metastatic cancer of peritoneum (c) Sarcoma of uterus</u></p> <p><u>Metastatic cancer of peritoneum is considered secondary, since peritoneum is in Table 3. Sarcoma of uterus (C55) is selected as underlying cause by the General Principle.</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）
	<p>骨の悪性新生物、詳細不明（C41.9）にコードする。</p> <p>(c) もし、複数の形態学的型の悪性新生物が、リンパ組織、造血組織または関連組織（C81-C96）に発生したならば、記載された経過によってコードする。それは、これらの新生物は、C81-C96の他の分類項目に帰結することが時々あるためである。慢性白血病の急性転化や芽胞発症は慢性型にコードする。</p> <p>例 40： I (a)急性リンパ球性白血病 (b)非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫（C85.9）にコードする。</p> <p>例 41： I (a)急性および慢性リンパ球性白血病 慢性リンパ球性白血病（C91.1）にコードする。</p> <p>同一の器官系における多部位</p> <p>もし、記載された部位が、同一の器官系に属するもので連続しているならば、細分類項目.8を使用する（内容例示表第1章の注5参照）。これは、死亡診断書で、部位が『一つの部位「および」他の部位』のように記載されている場合、または部位がI欄内の別々の欄に記載されている場合に適用される。両部位を包含する細分類項目.8にコードする。記載された部位の連続性について疑問がある場合は、記載された臓器の部位不明にコードする。</p> <p>(a)同一部位内の二つの連続している細部位の記載がある場合は、その3桁分類項目の細分類項目.8にコードする。</p> <p>例 42： I (a)下行結腸およびS状結腸の癌（腫） 結腸の境界部悪性新生物（C18.8）にコードする。</p> <p>(b) もし、細部位が連続していなければ、その3桁分類項目の細分類項目.9にコードする。</p> <p>例 43： I (a)腭頭部癌 (b)腭尾部癌 腭の悪性新生物、部位不明（C25.9）にコードする。</p> <p>(c)もし、同一の身体系内の異なる3桁分類項目に区分される二つの連続部位の記載があれば、全身身体系の細分類項目.8にコードする（内容例示表第II章の注5のリスト参照）。</p> <p>例 44： I (a)膾および子宮頸（部）の癌（腫） 女性生殖器の境界部位の悪性新生物（C57.8）にコードする</p>	<p>記載された場合の指示は適用されない。食道がんの記載もあるものの、肝臓が原発部位と考えられる。</p> <p>(d) 一般的転移部位リストにある「転移性」悪性新生物</p> <p>「転移性」新生物の部位が一般的転移部位リストにある場合、その新生物を続発とみなす。</p> <p>例 51： I (a) 腸閉塞 (b)腹膜の転移性がん (c)子宮の肉腫</p> <p>腹膜は表3にあることから、腹膜の転移がんは続発と考えられる。一般原則により、子宮の肉腫（C55）が原死因として選ばれる。</p> <p>該当する場合には、ルール3を適用する。</p> <p>例 52： I (a) 胸膜の転移性がん II 胃がん</p> <p>胸膜がんは転移性と記載されており、続発と考えられる。胃がんも記載されており、原発と考えられる（4.2.7.3節A(b)参照）。まず、一般原則を適用し、胸膜がんを暫定的な原死因として選ぶ。しかし、ルール3に従って、（続発性）胸膜がんは明らかに（原発性）胃がんの結果と考えられる。原死因として胃がん（C16.9）を選択する。</p> <p>死亡診断書に他の新生物が記載されていなくても、表3にある部位の新生物は続発とみなす。続発性悪性新生物は、原死因として選択すべきでないことに注意する。原発性腫瘍が記載されていないならば、その症例を部位不明の悪性新生物（C80.9）にコードする。</p> <p>例 53： I (a) 転移性脳腫瘍</p> <p>脳は表3にある部位の一つで、「転移性」脳腫瘍は続発とみなされる。原発性新生物は記載されていない。そのため、原発部位不明の悪性新生物（C80.9）にコードする。</p> <p>(注) 表3に記載されている部位の新生物がその部位又は組織の悪性新生物のリスクを高める病態によるものとして記載されている場合、その新生物は原発性とみなす（4.2.7.3節A(c)参照）。</p> <p>(e) 一般的転移部位リストにない「転移性」悪性新生物</p>	<p>Use Rule 3 if applicable.</p> <p><u>Example 52: I (a) Metastatic cancer of pleura II Cancer of stomach</u></p> <p><u>The pleura cancer is described as metastatic and is considered secondary. Stomach cancer is also reported and is considered primary (see Section 4.2.7.3 A (b)). First, apply the General Principle to select the pleural cancer as the temporary underlying cause. However, (secondary) pleura cancer is considered an obvious consequence of (primary) stomach cancer, according to Rule 3. Stomach cancer (C16.9) is selected as underlying cause of death.</u></p> <p><u>A neoplasm of a site in Table 3 is considered secondary, even if no other neoplasm is mentioned on the certificate. Note that a secondary malignant neoplasm should not be selected as the underlying cause of death. If no primary tumour is reported, code the case to malignant neoplasm of unspecified site (C80.9).</u></p> <p><u>Example 53: I (a) Metastatic brain cancer</u></p> <p><u>Brain is one of the sites in Table 3, and the “metastatic” brain cancer is considered secondary. There is no primary neoplasm reported. Therefore, code to malignant neoplasm of unknown primary site (C80.9).</u></p> <p><u>Note: A neoplasm of a site listed in Table 3 is considered primary when it is reported as due to a condition that increases the risk of a malignancy of that site or tissue, see Section 4.2.7.3 A (c).</u></p> <p><u>(e) “Metastatic” malignant neoplasm not on the list of common sites of metastases</u></p> <p><u>If a site that is not on the list of common sites of metastases is qualified as “metastatic” or “metastatic of”, consider it primary and code to malignant primary of that particular site.</u></p> <p><u>Example 54: I (a) Cervix cancer, metastatic</u></p> <p><u>Cervix is not in Table 3, and the “metastatic” cervix cancer is therefore considered primary. Code to malignant neoplasm of cervix (C53.9).</u></p> <p><u>Apply the selection rules in the usual way.</u></p> <p><u>Example 55: I (a) Metastatic adenocarcinoma of prostate (b) Metastatic adenocarcinoma of colon</u></p> <p><u>Prostate and colon are not in Table 3, and both neoplasms are considered primary. One primary neoplasm is not accepted as due to another. Rule 2 applies, and malignant neoplasm of prostate (C61) is selected as underlying cause.</u></p> <p><u>(f) “Metastatic” cancer of lung</u></p> <p><u>If the only malignancy mentioned is “metastatic” neoplasm of lung, code to primary malignant neoplasm of lung.</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告(原文)
	<p>る。</p> <p>(d) もし、死亡診断書に二つの部位が記載され、両者は同一の器官系に属し、同一の形態学的型を示すならば、下記のリストに示すように、その器官系の細分類項目.9 にコードする:</p> <p>C26.9 消化器系、部位不明確 C39.9 呼吸器系、部位不明確 C41.9 骨および関節軟骨、部位不明 C49.9 結合組織および軟部組織、部位不明 C57.9 女性生殖器、部位不明 C63.9 男性生殖器、部位不明 C68.9 尿路、部位不明 C72.9 中枢神経系、部位不明</p> <p>例 45: I (a)肺塞栓症 (b)胃のがん (c)胆嚢のがん 消化器系、部位不明確 (C26.9) にコードする。</p> <p>(e) もし、細分類項目.8 または.9 が使用できなければ、独立した(原発性の) 多部位の悪性新生物 (C97) にコードする。</p> <p>例 46: I (a)心停止 (b)前立腺および膀胱の癌(腫) 細分類項目.8 が使用できないので、独立した(原発性の) 多部位の悪性新生物 (C97) にコードする。</p>	<p>一般的転移部位リストにない部位が「転移性」又は「～の転移性」として特定されている場合、その部位を原発とみなし、その部位の原発性悪性新生物にコードする。</p> <p>例 54: I (a) 子宮頸がん、転移性</p> <p>子宮頸部は表 3 にないため、「転移性」子宮頸がんを原発性とみなす。子宮頸部の悪性新生物 (C53.9) にコードする。</p> <p>選択ルールを通常の方法で適用する。</p> <p>例 55: I (a) 前立腺の転移性腺がん (b) 結腸の転移性腺がん</p> <p>前立腺及び結腸は表 3 になく、いずれの新生物も原発性とみなされる。一方の原発性新生物がもう一方によるとは考えない。ルール 2 を適用して、前立腺の悪性新生物 (C61) を原死因として選択する。</p> <p>(f) 肺の「転移性」がん</p> <p>記載されている唯一の悪性新生物が肺の「転移性」新生物である場合、肺の原発性悪性新生物にコードする。</p> <p>例 56: I (a) 肺の転移癌(腫)</p> <p>他の部位が記載されていないため、肺の原発性悪性新生物 (C34.9) にコードする。</p> <p>また、死亡診断書に記載されているその他の新生物が、いずれも一般的転移部位リストにある場合も、肺の「転移性」新生物を原発性と考え。</p> <p>例 57: I (a) 肺の転移性がん II 胸膜、肝臓及び脳のがん</p> <p>胸膜、肝臓及び脳はすべて表 3 に掲載されているため、「肺の転移性がん」を原発性と考えられる。肺の悪性新生物 (C34.9) を原死因として選ぶ。</p> <p>別の悪性新生物が死亡診断書に記載され、その悪性新生物の部位が一般的転移部位リストにない場合、肺を続発と考える。</p> <p>例 58: I (a) 肺の転移性がん II 胃がん</p>	<p><u>Example 56: I (a) Metastatic carcinoma of lung</u></p> <p><u>Code to primary malignant neoplasm of lung (C34.9) since no other site is mentioned.</u></p> <p><u>Also consider a “metastatic” neoplasm of lung primary, if all other neoplasm sites reported on the death certificate are on the list of common sites of metastases.</u></p> <p><u>Example 57: I (a) Metastatic cancer of lung</u> <u>II Cancer of pleura, liver and brain</u></p> <p><u>“Metastatic cancer of lung” is considered primary, since pleura, liver, and brain are all in Table 3. Select malignant neoplasm of lung (C34.9) as underlying cause of death.</u></p> <p><u>If another malignancy is mentioned that is not on the list of common sites of metastases, consider lung secondary.</u></p> <p><u>Example 58: I (a) Metastatic cancer of lung</u> <u>II Stomach cancer</u></p> <p><u>Since stomach cancer is also mentioned, “metastatic cancer of lung” is considered secondary. First use the General Principle to select the (secondary) lung cancer as the temporary underlying cause. Then apply Rule 3, and consider (secondary) cancer of lung an obvious consequence of the stomach cancer mentioned in Part II. Select stomach cancer (C16.9) as the underlying cause of death.</u></p> <p><u>Note: A neoplasm of lung is considered primary when it is reported as due to a condition that increases the risk of lung cancer, see Section 4.2.7.3 A (c).</u></p> <p><u>(g) “Metastatic” neoplasm of a specific morphology</u></p> <p><u>If the morphological type is classifiable to C40-C47, C49, or C70-C72 and the site reported on the certificate indicates the same type of tissue, code to the appropriate subcategory for the morphological type.</u></p> <p><u>Example 59: I (a) Metastatic osteosarcoma of femur</u></p> <p><u>Code to malignant neoplasm of long bones of lower limb (C40.2).</u></p> <p><u>If the morphological type is classifiable to C40-C47, C49, or C70-C72 and the site reported on the certificate indicates a different type of tissue, code to the unspecified site for the morphological type.</u></p> <p><u>Example 60: I (a) Metastatic rhabdomyosarcoma</u> <u>(b) of hilar lymph nodes</u></p> <p><u>Code to unspecified site for rhabdomyosarcoma (C49.9).</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		<p>胃がんが記載されていることから、「肺の転移性がん」は続発性と考えられる。まず、一般原則を用い、(続発性)肺がんを暫定的な原死因として選ぶ。次に、ルール 3 を適用し、肺の(続発性)がんは、II 欄に記載されている胃がんの明らかな結果と考える。胃がん (C16) を原死因として選ぶ。</p> <p>(注) 肺の新生物が肺がんのリスクを高める病態によるものと記載される場合、肺の新生物が原発性と考えられる (4.2.7.3 節 A (c)参照)。</p> <p>(g) 特定の形態の「転移性」新生物</p> <p>形態学的型が C40-C47、C49 又は C70-C72 に分類できるもので、死亡診断書に記載されている部位が同じ種類の組織を示す場合、その形態学的型の適した細分類項目にコードする。</p> <p>例 59: I (a) 大腿骨の転移性骨肉腫</p> <p>下肢の長骨の悪性新生物 (C40.2) にコードする。</p> <p>形態学的型が C40-C47、C49 又は C70-C72 に分類できるもので、死亡診断書に記載されている部位が異なる種類の組織を示す場合、その形態学的型の部位不明にコードする。</p> <p>例 60: I (a) 転移性横紋筋肉腫 (b) 肺門リンパ節のもの</p> <p>横紋筋肉腫, 部位不明 (C49.9) にコードする。</p>	
129		<p>4.2.7.7 接頭辞又は不明確な定義を持つ部位</p> <p>「周囲」、「傍」、「前」、「上」、「下」等の接頭語がついている部位の新生物、又は部位の「範囲」もしくは「領域」にあると記載されている新生物は、これらの用語が特に指示されていないならば、下記のようにコードすべきである：</p> <p>下記の分類項目の一つに分類される悪性新生物について：</p> <p>C40、C41 (骨及び関節軟骨) C43 (皮膚の悪性黒色腫) C44 (皮膚のその他の悪性新生物) C45 (中皮腫) C46 (カボジ<Kaposi>肉腫) C47 (末梢神経及び自律神経系) C49 (結合組織及び軟部組織) C70 (髄膜) C71 (脳)</p>	<p>4.2.7.7 Sites with prefixes or imprecise definitions</p> <p>Neoplasms of sites prefixed by "peri," "para," "pre," "supra," "infra," etc. or described as in the "area" or "region" of a site, unless these terms are specifically indexed, should be coded as follows:</p> <p>For malignant neoplasms classifiable to one of the categories</p> <ul style="list-style-type: none"> - C40, C41 (bone and articular cartilage), - C43 (malignant melanoma of skin), - C44 (other malignant neoplasms of skin), - C45 (mesothelioma), - C46 (Kaposi's sarcoma), - C47 (peripheral nerves and autonomic nervous system), - C49 (connective and soft tissue), - C70 (meninges), - C71 (brain), - C72 (other parts of central nervous system), <p>code to the appropriate subdivision of that category</p> <p>Example 61: I (a) Fibrosarcoma in the region of the pancreas</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		<p>C72 (中枢神経系のその他の部分) その分類項目の適切な細分類項目にコードする。</p> <p>例 61: I (a) 臍臓領域における線維肉腫</p> <p>腹部の結合組織及び軟部組織の悪性新生物 (C49.4) にコードする。</p> <p>例 62: I (a) 横隔膜周囲血管筋肉腫</p> <p>胸郭の結合組織及び軟部組織の悪性新生物 (C49.3) にコードする。</p> <p>その他の形態学的型については、C76 (その他及び部位不明確の悪性新生物) の適切な細分類項目にコードする。</p> <p>例 63: I (a) 肺領域における癌 (腫)</p> <p>胸郭内のその他及び部位不明確の悪性新生物 (C76.1) にコードする。</p> <p>例 64: I (a) 傍脊椎がん</p> <p>その他の不明確の部位の悪性新生物 (C76.7) にコードする。</p> <p>例 65: I (a) 悪性新生物、横隔膜下</p> <p>腹部の悪性新生物 (C76.2) にコードする。</p>	<p><u>Code to malignant neoplasm of connective and soft tissue of abdomen (C49.4).</u></p> <p><i>Example 62: I (a) Peridiaphragmatic angiosarcoma</i></p> <p><u>Code to malignant neoplasm of connective and soft tissue of thorax (C49.3).</u></p> <p><u>For other morphological types code to the appropriate subdivision of C76 (other and ill-defined sites).</u></p> <p><i>Example 63: I (a) Carcinoma in the lung area</i></p> <p><u>Code to malignant neoplasm of other and ill-defined sites within the thorax. (C76.1)</u></p> <p><i>Example 64: I (a) Paravertebral carcinoma</i></p> <p><u>Code to malignant neoplasm of other ill-defined sites (C76.7).</u></p> <p><i>Example 65: I (a) Malignant neoplasm, infradiaphragmal</i></p> <p><u>Code to malignant neoplasm of abdomen (C76.2).</u></p>
130		<p>4.2.7.8 部位不明の悪性新生物で他の病態の記載を伴うもの</p> <p>原発性の悪性新生物の部位が明示されていない場合、穿孔、閉塞、又は出血のような他の記載された病態の場所から、その部位の推定を行ってはならない。これらの病態は、実際の新生物と無関係な部位に生じる可能性がある。たとえば、腸閉塞は卵巣悪性腫瘍の進展によって引き起こされたかもしれない。</p> <p>例 66: I (a) 腸閉塞 (b) 癌 (腫)</p> <p>部位の明示されない悪性新生物 (C80.9) にコードする。</p> <p>例 67: I (a) 呼吸不全 (b) 気管の閉塞 (c) 悪性新生物</p>	<p>4.2.7.8 Malignant neoplasms of unspecified site with other reported conditions</p> <p>When the site of a primary malignant neoplasm is not specified, no assumption of the site should be made from the location of other reported conditions such as perforation, obstruction, or haemorrhage. These conditions may arise in sites unrelated to the neoplasm, e.g. intestinal obstruction may be caused by the spread of an ovarian malignancy.</p> <p><i>Example 66: I (a) Obstruction of intestine (b) Carcinoma</i></p> <p><u>Code to malignant neoplasm without specification of site (C80.9).</u></p> <p><i>Example 67: I (a) Respiratory insufficiency (b) Obstruction of trachea (c) Malignancy</i></p> <p><u>Code to malignant neoplasm without specification of site (C80.9).</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告(原文)
		部位の明示されない悪性新生物 (C80.9) にコードする。	
131	<p>I 感染症および悪性新生物</p> <p>(a) 免疫系に作用する化学療法の効果により、何人かの癌患者が感染症にかかりやすくなり、これにより死亡する。したがって、がん「による」と記載された A00-B19 または B25-B64 に分類されるあらゆる感染症は、I 欄または II 欄のどちらの欄にあっても、上下の因果関係として受け入れられる。</p>	<p>4.2.7.9 感染症及び悪性新生物</p> <p>(a) 悪性新生物による感染症</p> <p>免疫系に作用する化学療法の効果により、がん患者の中には感染症にかかりやすくなり、これにより死亡する場合もある。したがって、がん「による」と記載され、A00-B19 又は B25-B64 に分類される感染症は、<u>妥当な上下の因果関係となる。</u></p>	<p>4.2.7.9 Infectious diseases and malignant neoplasms</p> <p>(a) <u>Infections due to malignant neoplasm</u></p> <p>Owing to the effect of chemotherapy on the immune system, some cancer patients become prone to infectious diseases and die of them. Therefore, any infectious disease classified to A00-B19 or B25-B64 reported as "due to" cancer will be an acceptable sequence.</p>
		<p>4.2.7.9 感染症及び悪性新生物</p> <p>(a) 悪性新生物による感染症</p> <p>免疫系に作用する化学療法の効果により、がん患者の中には感染症にかかりやすくなり、これにより死亡する場合もある。したがって、がん「による」と記載され、A00-B19 または B25-B64 に分類される4.2.2 A.(a)節に記載する感染症以外の感染症は、<u>妥当な上下の因果関係となる。</u></p>	<p>4.2.7.9 Infectious diseases and malignant neoplasms</p> <p>(a) <u>Infections due to malignant neoplasm</u></p> <p>Owing to the effect of chemotherapy on the immune system, some cancer patients become prone to infectious diseases and die of them. Therefore, any infectious disease classified aside from those listed in A00-B19 or B25-B64 section 4.2.2 A.(a) reported as "due to" cancer will be an acceptable sequence.</p>
132	<p>例 47: I (a) 帯状疱疹 (b) 慢性リンパ球性白血病 慢性リンパ球性白血病 (C91.1) にコードする。</p> <p>(b) ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病を除き、感染症および寄生虫症は、悪性新生物の原因としては受け入れられない。</p> <p>例 48: I (a) 細胞癌 (b) B 型肝炎ウイルス 肝細胞癌 (C22.0) にコードする。</p> <p>例 49: I (a) バーキット<Burkitt>腫瘍 (b) エプスタイン・パール<Epstein-Barr>ウイルス バーネット<Burkitt>腫瘍 (C83.7) にコードする。</p> <p>例 50: I (a) 肝の胆管細胞癌 (b) 肝吸虫症 肝内胆管の悪性新生物 (C22.1) にコードする。</p>	<p>例 68: I (a) 帯状疱疹 (b) 慢性リンパ球性白血病</p> <p>慢性リンパ球性白血病は帯状疱疹感染症を引き起こしうる。この上下の因果関係は認められるもので、慢性リンパ球性白血病 (C91.1) が原死因として選ばれる。</p> <p>(b) <u>感染症による悪性新生物</u></p> <p>例えばヒトパピローマウイルスと子宮頸がん、又は慢性 C 型肝炎ウイルス感染と肝臓がんなど、いくつかの感染症と特定のがんとの間に強い因果関係を示す証拠がある。しかし、このような危険因子は、死亡診断書では十分に報告されない。人口動態統計と公衆衛生の観点からは、その原因にかかわらず、特定のがんによる死亡をすべて計上できることが重要であるとされている。そのため、ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病を除き、いかなる感染症又は寄生虫症も悪性新生物を引き起こすものとして認められるべきではない。</p> <p>例 69: I (a) 肝細胞癌(腫) (b) B 型肝炎ウイルス</p> <p>B 型肝炎は肝臓がんのリスクを高める。しかし、肝臓がんによる死亡数を登録することがより重要であると考えられ、この上下の因果関係は認められない。ルール 2 を用いて肝細胞がん (C22.0) を原死因として選ぶ。</p>	<p>Example 68: I (a) Zoster (b) Chronic lymphocytic leukaemia</p> <p>Chronic lymphocytic leukaemia could cause a zoster infection. The sequence is accepted, and chronic lymphocytic leukaemia (C91.1) is selected as the underlying cause of death.</p> <p>(b) <u>Malignant neoplasm due to infections</u></p> <p>There is evidence for strong aetiological links between some infections and particular cancers, e.g., human papilloma virus and cervical cancer, or chronic hepatitis C viral infection and liver cancer. However, reporting of such risk factors on death certificates is incomplete. For purposes of vital statistics and public health it is regarded as important to be able to count all the deaths due to particular cancers, whatever their causal factors. Therefore, except for human immunodeficiency virus [HIV] disease, no infectious or parasitic disease should be accepted as causing a malignant neoplasm.</p> <p>Example 69: I (a) Hepatocellular carcinoma (b) Hepatitis B virus</p> <p>Hepatitis B increases the risk of liver cancer. However, it is considered more important to register the number of liver cancer deaths, and the sequence is not accepted. Use Rule 2 to select hepatocellular carcinoma (C22.0) as underlying cause of death.</p> <p>Example 70: I (a) Kaposi's sarcoma (b) HIV</p> <p>HIV is accepted as causing malignant neoplasms. First, use the General Principle to select HIV as the temporary underlying cause. Then use Rule C (Linkage) to code HIV disease resulting in Kaposi's sarcoma (B21.0) as</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)																																																																																
		<p>例 70: I (a) <u>カポジ<Kaposi>肉腫</u> (b) <u>HIV</u></p> <p>HIV は悪性新生物を引き起こすものとして認められる。まず、一般原則を用いて HIV を暫定的な原死因として選ぶ。次にルール C (連鎖) を用いてカポジ<Kaposi>肉腫を起こした HIV 病 (B21.0) を原死因としてコードする。</p>	<u>underlying cause of death.</u>																																																																																
133	<p>J 悪性新生物および循環器疾患</p> <p>下記の急性または致命的な循環器疾患は、死亡診断書の I 欄で、悪性新生物によるものとして受け入れる：</p> <p>I 21- I 22 急性心筋梗塞 I 24.- その他の急性虚血性心疾患 I 26.- 肺塞栓症 I 30.- 急性心膜炎 I 33.- 急性および亜急性心内膜炎 I 40.- 急性心慮炎 I 44.- 房室ブロックおよび左脚ブロック I 45.- その他の伝導障害 I 46.- 心停止 I 47.- 発作性頻拍 (症) I 48 心房細動および粗動 I 49.- その他の不整脈 I 50.- 心不全 I 51.8 その他の診断名不明確な心疾患 I 60- I 69 脳血管疾患, I 67.0- I 67.5, I 67.9, I 69.-を除く</p> <p>下記の循環器疾患は、悪性新生物によるものとしては受け入れられない：</p> <p>I 00- I 09 リウマチ熱およびリウマチ性心疾患 I 10- I 15 高血圧性疾患 (内分泌系の新生物、腎の新生物およびカルチノイド腫瘍 (によると記載された場合を除く)) I 20.- 狭心症 I 25.- 慢性虚血性心疾患 I 70.- アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症)</p>	<p>4.2.7.10 悪性新生物及び循環器疾患</p> <p>下記の急性又は致命的な循環器疾患は、I 欄で「~による」との下 の因果関係で示されている場合、悪性新生物によるものと認められる：</p> <table border="0"> <tr><td><u>I 21- I 22</u></td><td><u>急性心筋梗塞</u></td></tr> <tr><td><u>I 24.-</u></td><td><u>その他の急性虚血性心疾患</u></td></tr> <tr><td><u>I 26.-</u></td><td><u>肺塞栓症</u></td></tr> <tr><td><u>I 30.-</u></td><td><u>急性心膜炎</u></td></tr> <tr><td><u>I 33.-</u></td><td><u>急性及び亜急性心内膜炎</u></td></tr> <tr><td><u>I 40.-</u></td><td><u>急性心慮筋炎</u></td></tr> <tr><td><u>I 44.-</u></td><td><u>房室ブロック及び左脚ブロック</u></td></tr> <tr><td><u>I 45.-</u></td><td><u>その他の伝導障害</u></td></tr> <tr><td><u>I 46.-</u></td><td><u>心停止</u></td></tr> <tr><td><u>I 47.-</u></td><td><u>発作性頻拍 (症)</u></td></tr> <tr><td><u>I 48</u></td><td><u>心房細動及び粗動</u></td></tr> <tr><td><u>I 49.-</u></td><td><u>その他の不整脈</u></td></tr> <tr><td><u>I 50.-</u></td><td><u>心不全</u></td></tr> <tr><td><u>I 51.8</u></td><td><u>その他の診断名不明確な心疾患</u></td></tr> <tr><td><u>I 60- I 69</u></td><td><u>I 67.0 - I 67.5, I 67.9, I 69.-以外 の脳血管疾患</u></td></tr> </table> <p>下記の循環器疾患は、悪性新生物「による」ものと認められない：</p> <table border="0"> <tr><td><u>I 00- I 09</u></td><td><u>リウマチ熱及びリウマチ性心疾患</u></td></tr> <tr><td><u>I 10- I 15</u></td><td><u>高血圧疾患 (内分泌系の新生物、腎の新生物及びカルチノイド腫瘍によると記載された場合を除く)</u></td></tr> <tr><td><u>I 20.-</u></td><td><u>狭心症</u></td></tr> <tr><td><u>I 25.-</u></td><td><u>慢性虚血性心疾患</u></td></tr> <tr><td><u>I 70.-</u></td><td><u>アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症)</u></td></tr> </table>	<u>I 21- I 22</u>	<u>急性心筋梗塞</u>	<u>I 24.-</u>	<u>その他の急性虚血性心疾患</u>	<u>I 26.-</u>	<u>肺塞栓症</u>	<u>I 30.-</u>	<u>急性心膜炎</u>	<u>I 33.-</u>	<u>急性及び亜急性心内膜炎</u>	<u>I 40.-</u>	<u>急性心慮筋炎</u>	<u>I 44.-</u>	<u>房室ブロック及び左脚ブロック</u>	<u>I 45.-</u>	<u>その他の伝導障害</u>	<u>I 46.-</u>	<u>心停止</u>	<u>I 47.-</u>	<u>発作性頻拍 (症)</u>	<u>I 48</u>	<u>心房細動及び粗動</u>	<u>I 49.-</u>	<u>その他の不整脈</u>	<u>I 50.-</u>	<u>心不全</u>	<u>I 51.8</u>	<u>その他の診断名不明確な心疾患</u>	<u>I 60- I 69</u>	<u>I 67.0 - I 67.5, I 67.9, I 69.-以外 の脳血管疾患</u>	<u>I 00- I 09</u>	<u>リウマチ熱及びリウマチ性心疾患</u>	<u>I 10- I 15</u>	<u>高血圧疾患 (内分泌系の新生物、腎の新生物及びカルチノイド腫瘍によると記載された場合を除く)</u>	<u>I 20.-</u>	<u>狭心症</u>	<u>I 25.-</u>	<u>慢性虚血性心疾患</u>	<u>I 70.-</u>	<u>アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症)</u>	<p>4.2.7.10 Malignant neoplasms and circulatory disease</p> <p><u>The following acute or fatal circulatory diseases will be accepted as due to malignant neoplasms, if certified in a “due to” sequence in Part I:</u></p> <table border="0"> <tr><td>I 21-I 22</td><td>Acute myocardial infarction</td></tr> <tr><td>I 24.-</td><td>Other acute ischaemic heart diseases</td></tr> <tr><td>I 26.-</td><td>Pulmonary embolism</td></tr> <tr><td>I 30.-</td><td>Acute pericarditis</td></tr> <tr><td>I 33.-</td><td>Acute and subacute endocarditis</td></tr> <tr><td>I 40.-</td><td>Acute myocarditis</td></tr> <tr><td>I 44.-</td><td>Atrioventricular and left bundle-branch block</td></tr> <tr><td>I 45.-</td><td>Other conduction disorders</td></tr> <tr><td>I 46.-</td><td>Cardiac arrest</td></tr> <tr><td>I 47.-</td><td>Paroxysmal tachycardia</td></tr> <tr><td>I 48</td><td>Atrial fibrillation and flutter</td></tr> <tr><td>I 49.-</td><td>Other cardiac arrhythmias</td></tr> <tr><td>I 50.-</td><td>Heart failure</td></tr> <tr><td>I 51.8</td><td>Other ill-defined heart diseases</td></tr> <tr><td>I 60-I 69</td><td>Cerebrovascular diseases, except I 67.0-I 67.5, I 67.9, I 69.-</td></tr> </table> <p>The following circulatory diseases will not be accepted as due to malignant neoplasms:</p> <table border="0"> <tr><td>I 00-I 09</td><td>Rheumatic fever and rheumatic heart disease</td></tr> <tr><td>I 10-I 15</td><td>Hypertensive disease (except when reported as due to endocrine neoplasms, renal neoplasms and carcinoid tumours)</td></tr> <tr><td>I 20.-</td><td>Angina pectoris</td></tr> <tr><td>I 25.-</td><td>Chronic ischaemic heart disease</td></tr> <tr><td>I 70.-</td><td>Atherosclerosis</td></tr> </table>	I 21-I 22	Acute myocardial infarction	I 24.-	Other acute ischaemic heart diseases	I 26.-	Pulmonary embolism	I 30.-	Acute pericarditis	I 33.-	Acute and subacute endocarditis	I 40.-	Acute myocarditis	I 44.-	Atrioventricular and left bundle-branch block	I 45.-	Other conduction disorders	I 46.-	Cardiac arrest	I 47.-	Paroxysmal tachycardia	I 48	Atrial fibrillation and flutter	I 49.-	Other cardiac arrhythmias	I 50.-	Heart failure	I 51.8	Other ill-defined heart diseases	I 60-I 69	Cerebrovascular diseases, except I 67.0-I 67.5, I 67.9, I 69.-	I 00-I 09	Rheumatic fever and rheumatic heart disease	I 10-I 15	Hypertensive disease (except when reported as due to endocrine neoplasms, renal neoplasms and carcinoid tumours)	I 20.-	Angina pectoris	I 25.-	Chronic ischaemic heart disease	I 70.-	Atherosclerosis
<u>I 21- I 22</u>	<u>急性心筋梗塞</u>																																																																																		
<u>I 24.-</u>	<u>その他の急性虚血性心疾患</u>																																																																																		
<u>I 26.-</u>	<u>肺塞栓症</u>																																																																																		
<u>I 30.-</u>	<u>急性心膜炎</u>																																																																																		
<u>I 33.-</u>	<u>急性及び亜急性心内膜炎</u>																																																																																		
<u>I 40.-</u>	<u>急性心慮筋炎</u>																																																																																		
<u>I 44.-</u>	<u>房室ブロック及び左脚ブロック</u>																																																																																		
<u>I 45.-</u>	<u>その他の伝導障害</u>																																																																																		
<u>I 46.-</u>	<u>心停止</u>																																																																																		
<u>I 47.-</u>	<u>発作性頻拍 (症)</u>																																																																																		
<u>I 48</u>	<u>心房細動及び粗動</u>																																																																																		
<u>I 49.-</u>	<u>その他の不整脈</u>																																																																																		
<u>I 50.-</u>	<u>心不全</u>																																																																																		
<u>I 51.8</u>	<u>その他の診断名不明確な心疾患</u>																																																																																		
<u>I 60- I 69</u>	<u>I 67.0 - I 67.5, I 67.9, I 69.-以外 の脳血管疾患</u>																																																																																		
<u>I 00- I 09</u>	<u>リウマチ熱及びリウマチ性心疾患</u>																																																																																		
<u>I 10- I 15</u>	<u>高血圧疾患 (内分泌系の新生物、腎の新生物及びカルチノイド腫瘍によると記載された場合を除く)</u>																																																																																		
<u>I 20.-</u>	<u>狭心症</u>																																																																																		
<u>I 25.-</u>	<u>慢性虚血性心疾患</u>																																																																																		
<u>I 70.-</u>	<u>アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症)</u>																																																																																		
I 21-I 22	Acute myocardial infarction																																																																																		
I 24.-	Other acute ischaemic heart diseases																																																																																		
I 26.-	Pulmonary embolism																																																																																		
I 30.-	Acute pericarditis																																																																																		
I 33.-	Acute and subacute endocarditis																																																																																		
I 40.-	Acute myocarditis																																																																																		
I 44.-	Atrioventricular and left bundle-branch block																																																																																		
I 45.-	Other conduction disorders																																																																																		
I 46.-	Cardiac arrest																																																																																		
I 47.-	Paroxysmal tachycardia																																																																																		
I 48	Atrial fibrillation and flutter																																																																																		
I 49.-	Other cardiac arrhythmias																																																																																		
I 50.-	Heart failure																																																																																		
I 51.8	Other ill-defined heart diseases																																																																																		
I 60-I 69	Cerebrovascular diseases, except I 67.0-I 67.5, I 67.9, I 69.-																																																																																		
I 00-I 09	Rheumatic fever and rheumatic heart disease																																																																																		
I 10-I 15	Hypertensive disease (except when reported as due to endocrine neoplasms, renal neoplasms and carcinoid tumours)																																																																																		
I 20.-	Angina pectoris																																																																																		
I 25.-	Chronic ischaemic heart disease																																																																																		
I 70.-	Atherosclerosis																																																																																		
134		4.2.8 複数の種類の薬物使用の関与	4.2.8 Involvement of multiple types of substance use <u>If a condition classifiable to F10-F19 or F55 is selected as underlying cause, and one or more other conditions also classified to F10-F19 or F55 are</u>																																																																																

	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）
		<p>F10-F19 又は F55 に分類される病態が原因として選ばれており、死亡診断書に F10-F19 又は F55 に分類されるその他の病態が一つ又は複数記載されている場合は、下記のように処理する：</p> <p>i) 死因と明示されている病態が一つある場合は、その病態にコードする。</p> <p>ii) 主たる死因と明示されている単独の病態がない場合は、死亡診断書作成者（医師）の確認を取るべきである。</p> <p>iii) そうした確認が取れない場合、下記の優先順位に従って原因を選択する：</p> <p>1) <u>アヘン類使用による精神及び行動の障害（F11）</u></p> <p>2) <u>コカイン使用による精神及び行動の障害（F14）</u></p> <p>3) <u>カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害（F15）</u></p> <p>4) <u>F19 における合成麻薬の使用による精神及び行動の障害</u></p> <p>5) <u>F55 における抗うつ薬及び非オピオイド系鎮痛薬の乱用</u></p> <p>6) <u>大麻類使用による精神及び行動の障害（F12）、鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害（F13）、幻覚薬使用による精神及び行動の障害（F16）、タバコ使用<喫煙>による精神及び行動の障害（F17）、揮発性溶剤使用による精神及び行動の障害（F18）、F19 に分類される合成麻薬以外の物質使用による精神及び行動の障害、F55 に分類される抗うつ薬及び非オピオイド系鎮痛薬以外の依存を生じない物質の乱用</u></p> <p>7) <u>アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害（F10）</u></p> <p>死亡診断書に同じ優先順位に属する精神及び行動の障害が複数記載されている場合は、最初に記載されたものをコードする。</p>	<p>mentioned on the death certificate, proceed as follows:</p> <p>i) If one condition is specified as the cause of death, code to that condition.</p> <p>ii) When no single condition is specified as the main cause of death, clarification should be sought from the certifier.</p> <p>iii) When no such clarification can be obtained, select the underlying cause in the following order of priority:</p> <p>1) <u>Mental and behavioural disorders due to use of opioids (F11)</u></p> <p>2) <u>Mental and behavioural disorders due to use of cocaine (F14)</u></p> <p>3) <u>Mental and behavioural disorders due to use of other stimulants, including caffeine (F15)</u></p> <p>4) <u>Mental and behavioural disorders due to use of synthetic narcotics, in F19</u></p> <p>5) <u>Abuse of antidepressants and non-opioid analgesics, in F55</u></p> <p>6) <u>Mental and behavioural disorders due to use of cannabinoids (F12), Mental and behavioural disorders due to use of sedatives and hypnotics (F13), Mental and behavioural disorders due to use of hallucinogens (F16), Mental and behavioural disorders due to use of tobacco (F17), Mental and behavioural disorders due to use of volatile solvents (F18), Mental and behavioural disorders due to use of substances other than synthetic narcotics classified to F19, Abuse of non-dependence-producing substances other than antidepressants and non-opioid analgesics classified to F55.</u></p> <p>7) <u>Mental and behavioural disorders due to use of alcohol (F10)</u></p> <p>If the death certificate reports more than one mental and behavioural disorder in the same priority group, code to first mentioned.</p>
135	4.2.8 心臓併発症を伴うリウマチ熱	4.2.89 心臓併発症を伴うリウマチ熱	4.2.9 Rheumatic fever with heart involvement
136		<p>4.2.11 損傷の性質</p> <p>第 XIX 章（S00-T98）に分類される損傷又は中毒が死亡の原因である場合、その損傷又は中毒の外因（第 XX 章、V01-Y89）を原死因としてコードする。</p>	<p>4.2.11 Nature of injury</p> <p>When death is caused by an injury or poisoning classified to Chapter XIX (S00-T98), code the external cause of the injury or poisoning (Chapter XX, V01-Y89) as underlying cause of death.</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		<p>さらに、第 XX 章(V01-Y89)の外因に加えて、主たる損傷をコードする (S00-T98)。その時、死亡診断書に複数の損傷の記載がある場合、下記の指示に従う。</p> <p>a) 第 I 欄又は第 II 欄に記載された損傷の中に表在損傷又は軽微な損傷 (付録 7.1 死亡を引き起こす可能性の低い病態リストに記載する損傷) がある場合、その表在損傷又は軽微な損傷が死亡診断書に記載されなかったものとして主たる損傷を選択する。</p> <p>例: I(a) 腕の打撲傷及び頭蓋の骨折 (b) 足場からの転落</p> <p>足場からの転落又はその上での転倒 (W12) を原死因としてコードする。主たる損傷としては、頭蓋骨及び顔面骨の骨折、部位不明 (S02.9) にコードする。上肢の表在損傷、部位不明 (T11.0) は考慮しない。</p> <p>b) 第 I 欄と第 II 欄の両方に重度の損傷 (表在損傷でも軽微な損傷でもない損傷) の記載がある場合、第 I 欄から主たる損傷を選択する。「ICD-10 損傷の性質コードの優先順位リスト」(付録#参照) において、第 II 欄に記載されている損傷の優先順位が第 I 欄に記載されている損傷の優先順位より高い場合でも、第 I 欄から主たる損傷を選択する。</p> <p>例: I(a) 胸腔内の多発性損傷 (b) 自動車運転者、バスとの衝突 II 脳損傷</p> <p>原死因を、大型輸送車両又はバスとの衝突により受傷した運転者 (V44.5) にコードする。主たる損傷には、胸部<郭>の多発性損傷 (S29.7) にコードする。優先順位リストにおいて、頭蓋内損傷、詳細不明 (S06.9) の優先順位は胸部の多発性損傷の優先順位より高いが、胸部の多発性損傷の記載は第 I 欄にあるため、第 II 欄に記載の損傷に優先する。</p> <p>重度の損傷が第 II 欄にのみ記載されている場合、第 II 欄に記載されている損傷を主たる損傷として選択する。</p> <p>c) 死亡診断書の該当箇所に重度の損傷の記載が複数ある場合、「ICD-10 損傷の性質コードの優先順位リスト」(付録#参照) の優先順位に従って主たる損傷を選択する。同リストでは、「1」がもっとも高い優先順位を示し、「6」がもっとも低い優先順位を示す。</p> <p>例: I (a) 胸腔内の多発性損傷及び脳損傷 (b) 自動車運転者、バスとの衝突</p>	<p>In addition to the underlying cause from Chapter XX (V01-Y89), code also a main injury (S00-T98). If more than one injury is reported on the death certificate, apply the following instructions:</p> <p>a) When the injuries reported include superficial and trivial injury (as listed in Appendix 7.1 List of conditions unlikely to cause death), whether in Part I or Part II, select the main injury as if the superficial or trivial injury had not been reported.</p> <p>Ex.: I (a) Contusion of arm and fracture of skull (b) Fall from scaffolding</p> <p>Code to fall on and from scaffolding (W12) as underlying cause of death. As main injury, code fracture of skull and facial bones, part unspecified (S02.9). Superficial injury of upper limb, level unspecified (T11.0) is ignored.</p> <p>b) When serious (non-superficial and non-trivial) injuries are reported in both Part I and Part II, select the main injury from Part I. This applies even when the injuries mentioned in Part II have a higher rank on the Priority Ranking of ICD-10 Nature of Injury Codes list (see Appendix #) than the injuries mentioned in Part I.</p> <p>Ex.: I (a) Multiple intrathoracic injuries (b) Car driver, collision with bus II Brain injuries</p> <p>Code to car driver injured in collision with heavy transport vehicle or bus (V44.5) as underlying cause of death. As main injury, code multiple injuries of thorax (S29.7). Intracranial injury, unspecified (S06.9) has a higher rank on the priority list than multiple injuries of thorax, but multiple injuries of thorax are mentioned in Part I and take precedence of the injuries mentioned in Part II.</p> <p>When serious injuries are reported only in Part II, select a main injury from Part II.</p> <p>c) When more than one serious injury is reported in the relevant part of the certificate, select the main injury according to the Priority Ranking of ICD-10 Nature-of-Injury Codes list (see Appendix #). Note that 1 is the highest priority rank and that 6 is the lowest.</p> <p>Ex.: I (a) Multiple intrathoracic injuries and brain injuries (b) Car driver, collision with bus</p> <p>Code to car driver injured in collision with heavy transport vehicle or bus (V44.5) as underlying cause of death. As main injury, code intracranial injury.</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)																																																																														
		<p>原死因は、大型輸送車両又はバスとの衝突により受傷した運転者 (V44.5) にコードする。主たる損傷には、優先順位リストで胸部<郭>の多発性損傷 (S29.7) より順位の高い頭蓋内損傷、詳細不明 (S06.9) にコードする。</p> <p>d) 死亡診断書の該当箇所に重度損傷の記載が複数あり、優先順位がもっとも高い損傷が複数ある場合、最初に記載されている方の損傷を選択する。ただし、優先順位がもっとも高い損傷が複数あり、一方が特定された損傷で、他方が T00-T07 (多部位の損傷) の損傷である場合、特定された損傷を優先する。</p> <p>例：I(a) 大動脈破裂を伴う多発性損傷 (b) 自動車運転者、バスとの衝突</p> <p>原死因は、大型輸送車両又はバスとの衝突により受傷した運転者 (V44.5) にコードする。主たる損傷には、胸部大動脈損傷にコードする。多発性損傷 (T07) と胸部大動脈損傷 (S25.0) は優先順位リストで同じ順位にあるが、特定された損傷は、T00-T07 の損傷に優先する。</p> <p>優先順位リストは付録として掲載する。リストは下記の通り。</p> <p>-</p> <p>ICD-10 損傷の性質コードの優先順位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>優先順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">1= もっとも高い優先順位</td> </tr> <tr> <td>S00-S02.0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S02.1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>S02.2-.8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S02.9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>S03.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S03.1-.2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S03.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S03.4-S05.6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S05.7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S05.8-.S06.0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S06.1-.9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>S07.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S07.1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>S07.8-.9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>S08.0-.1</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	コード	優先順位	1= もっとも高い優先順位		S00-S02.0	6	S02.1	4	S02.2-.8	6	S02.9	3	S03.0	5	S03.1-.2	6	S03.3	5	S03.4-S05.6	6	S05.7	5	S05.8-.S06.0	6	S06.1-.9	2	S07.0	5	S07.1	1	S07.8-.9	3	S08.0-.1	6	<p><u>unspecified (S06.9), which has a higher rank on the priority list than multiple injuries of thorax (S29.7).</u></p> <p>d) <u>When more than one of the serious injuries reported in the relevant part of the certificate have the same and highest rank, select the first mentioned of these injuries. However, prefer a specific injury over an injury from the block T00-T07 (Injuries involving multiple body regions) with the same priority rank.</u></p> <p>Ex.: <u>I (a) Multiple injuries with rupture of aorta</u> <u>(b) Car driver, collision with bus</u></p> <p><u>Code to car driver injured in collision with heavy transport vehicle or bus (V44.5) as underlying cause of death. As main injury, code rupture of aorta. Multiple injuries (T07) and rupture of aorta (S25.0) have the same rank on the priority list, but a specific injury takes precedence over an injury coded in T00-T07.</u></p> <p><i>The priority list would be placed in an appendix. The list is as follows:</i></p> <p><u>Priority Ranking of ICD-10 Nature-of-Injury Codes</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Code</th> <th>Rank</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">1= Highest priority rank</td> </tr> <tr> <td>S00-S02.0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S02.1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>S02.2-.8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S02.9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>S03.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S03.1-.2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S03.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S03.4-S05.6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S05.7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S05.8-.S06.0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S06.1-.9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>S07.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S07.1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>S07.8-.9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>S08.0-.1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S08.8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S08.9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S09.0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>S09.1-.8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>S09.9</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	Code	Rank	1= Highest priority rank		S00-S02.0	6	S02.1	4	S02.2-.8	6	S02.9	3	S03.0	5	S03.1-.2	6	S03.3	5	S03.4-S05.6	6	S05.7	5	S05.8-.S06.0	6	S06.1-.9	2	S07.0	5	S07.1	1	S07.8-.9	3	S08.0-.1	6	S08.8	5	S08.9	6	S09.0	5	S09.1-.8	6	S09.9	4
コード	優先順位																																																																																
1= もっとも高い優先順位																																																																																	
S00-S02.0	6																																																																																
S02.1	4																																																																																
S02.2-.8	6																																																																																
S02.9	3																																																																																
S03.0	5																																																																																
S03.1-.2	6																																																																																
S03.3	5																																																																																
S03.4-S05.6	6																																																																																
S05.7	5																																																																																
S05.8-.S06.0	6																																																																																
S06.1-.9	2																																																																																
S07.0	5																																																																																
S07.1	1																																																																																
S07.8-.9	3																																																																																
S08.0-.1	6																																																																																
Code	Rank																																																																																
1= Highest priority rank																																																																																	
S00-S02.0	6																																																																																
S02.1	4																																																																																
S02.2-.8	6																																																																																
S02.9	3																																																																																
S03.0	5																																																																																
S03.1-.2	6																																																																																
S03.3	5																																																																																
S03.4-S05.6	6																																																																																
S05.7	5																																																																																
S05.8-.S06.0	6																																																																																
S06.1-.9	2																																																																																
S07.0	5																																																																																
S07.1	1																																																																																
S07.8-.9	3																																																																																
S08.0-.1	6																																																																																
S08.8	5																																																																																
S08.9	6																																																																																
S09.0	5																																																																																
S09.1-.8	6																																																																																
S09.9	4																																																																																

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		S08.8 5	S10.0-2 6
		S08.9 6	S11.7 6
		S09.0 5	S11.8 6
		S09.1-.8 6	S11.9 6
		S09.9 4	S12.0-.7 6
		S10.0-.2 6	S12.8 6
		S11.7 5	S12.9 6
		S11.8 6	S13.0 6
		S11.9 3	S13.1-.2 6
		S12.0-.7 3	S13.3 6
		S12.8 5	S13.4 6
		S12.9 3	S13.6 6
		S13.0 6	S14.0 6
		S13.1-.2 5	S14.1 6
		S13.3 3	S14.2-.5 6
		S13.4 5	S14.6 6
		S13.6 6	
		S14.0 5	S15 1
		S14.1 3	S16 6
		S14.2-.5 6	S17.0 6
		S14.6 5	S17.8 6
			S17.9 6
			S18 1
			S19.7 3
			S19.8 4
			S19.9-S21 3
		S15 1	S19.9-S21 3
		S16 6	S22.0-.1 6
		S17.0 5	S22.2-.3 6
		S17.8 6	S22.4 6
		S17.9 3	S22.5 6
		S18 1	S22.8-9 6
		S19.7 3	S23.0 6
		S19.8 4	S23.1-.2 6
		S19.9-S21 3	S23.3-.5 6
		S22.0-.1 5	S24 4
		S22.2-.3 6	S25.0 1
		S22.4 5	S25.1 5
		S22.5 2	S25.2-.4 3
		S22.8-9 5	S25.5 5
		S23.0 6	S25.7 3
		S23.1-.2 5	
		S23.3-.5 6	S26.0 6
		S24 4	S26.8-S27.6 6
		S25.0 1	S27.7 1
		S25.1 5	S27.8-9 6
		S25.2-.4 3	S28.0-.1 6
		S25.5 5	S29.0 6
		S25.7 3	S29.7 6
			S29.8 6
			S29.9 6
			S30-S31.1 6

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		S25.8	S31.2-.3
		S25.9	S31.4-S32.3
		S26.0	S32.4
		S26.8-S27.6	S32.5
		S27.7	S32.7-.8
		S27.8-.9	S33.0-.2
		S28.0-.1	S33.3
		S29.0	S33.4-.6
		S29.7	S33.7
		S29.8	S34.0-.6
		S29.9	S34.8
		S30-S31.1	S35.0-.1
		S31.2-.3	S35.2-.5
		S31.4-S32.3	S35.7
		S32.4	S35.8-.9
		S32.5	S36
		S32.7-.8	S37
		S33.0-.2	S38.0
		S33.3	S38.1
		S33.4-.6	S38.2-S39.0
		S33.7	S39.6
		S34.0-.6	S39.7
		S34.8	S39.8
		S35.0-.1	S39.9
		S35.2-.5	S40-S41.7
		S35.7	S41.8
		S35.8-.9	S42.0-.2
		S36	S42.3
		S37	S42.4
		S38.0	S42.7
		S38.1	S42.9
		S38.2-S39.0	S43-S44.9
		S39.6	S45
		S39.7	S46
		S39.8	S47
		S39.9	S48
		S40-S41.7	S49.7
		S41.8	S49.8-S51.9
		S42.0-.2	S52
		S42.3	S53-S55.0
		S42.4	S55.1-.2
		S42.7	S55.7
		S42.9	S55.8-.9
		S43-S44.9	S56-S58
		S45	S59.7
			S59.8
			S59.9
			S60-S62.7
			S62.8
			S63-S65.0
			S65.1
			S65.2-.8

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		S46	S65.9
		S47	S66-S68.3
		S48	S68.4
		S49.7	S68.8
		S49.8-S51.9	S68.9
		S52	S69
		S53-S55.0	S70-S71
		S55.1-.2	S72.0-.2
		S55.7	S72.3-.4
		S55.8-.9	S72.7
		S56-S58	S72.8
		S59.7	S72.9
		S59.8	S73-S74.1
		S59.9	S74.2-.7
		S60-S62.7	S74.8-.9
		S62.8	S75.0-.1
		S63-S65.0	S75.2
		S65.1	S75.7
		S65.2-.8	S75.8
		S65.9	S75.9
		S66-S68.3	S76
		S68.4	S77.0
		S68.8	S77.1-S78.1
		S68.9	S78.9-S79.9
		S69	S80-S81
		S70-S71	S82
		S72.0-.2	S83-S85.2
		S72.3-.4	S85.3
		S72.7	S85.4-.5
		S72.8	S85.7
		S72.9	S85.8
		S73-S74.1	S85.9
		S74.2-.7	S86.0-.7
		S74.8-.9	S86.8
		S75.0-.1	S86.9-S87.0
		S75.2	S87.8
		S75.7	S88.0-.1
		S75.8	S88.9
		S75.9	S89.7-.9
		S76	S90-S95.0
		S77.0	S95.1
		S77.1-S78.1	S95.2-S97.0
		S78.9-S79.9	S97.1
		S80-S81	S97.8-S98.4
		S82	S99.7-.9
			T00-T01.0
			T01.1
			T01.2-T01.6
			T01.8
			T01.9
			T02
			T03.0-.8

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		S83-S85.2	T03.9
		S85.3	T04.0
		S85.4-.5	T04.1-.3
		S85.7	T04.4
		S85.8	T04.7
		S85.9	T04.8
		S86.0-.7	T04.9
		S86.8	T05.0-4
		S86.9-S87.0	T05.5
		S87.8	T05.6-9
		S88.0-.1	T06.0
		S88.9	T06.1-.2
		S89.7-.9	T06.3
		S90-S95.0	T06.4
		S95.1	T06.5
		S95.2-S97.0	T06.8
		S97.1	T07
		S97.8-S98.4	T08
		S99.7-.9	T09.0
		T00-T01.0	T09.1
		T01.1	T09.2
		T01.2-T01.6	T09.3
		T01.8	T09.4
		T01.9	T09.5
		T02	T09.6
		T03.0-.8	T09.8-T11.1
		T03.9	T11.2
		T04.0	T11.3
		T04.1-.3	T11.4
		T04.4	T11.5
		T04.7	T11.6
		T04.8	T11.8-9
		T04.9	T12
		T05.0-.4	T13.0-3
		T05.5	T13.4
		T05.6-.9	T13.5-6
		T06.0	T13.8
		T06.1-.2	T13.9
		T06.3	T14.0
		T06.4	T14.1
		T06.5	T14.2
		T06.8	T14.3-4
		T07	T14.5
		T08	T14.6
		T09.0	T14.7
			T14.8-T15.8
			T15.9
			T16
			T17.0-1
			T17.2-4
			T17.5
			T17.8-9

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		T09.1 5	T18.0-2 6
		T09.2 6	T18.3-4 5
		T09.3 3	T18.5-T19.1 6
		T09.4 2	T19.2 5
		T09.5 6	T19.3-8 6
		T09.6 1	T19.9 5
		T09.8-T11.1 5	T20.0-2 6
		T11.2 6	T20.3 5
		T11.3 5	T20.4-6 6
		T11.4 2	T20.7 5
		T11.5 6	T21.0-2 6
		T11.6 3	T21.3 5
		T11.8-9 5	T21.4-6 6
		T12 3	T21.7 5
		T13.0-3 6	T22.0-2 6
		T13.4 3	T22.3 5
		T13.5-6 6	T22.4-6 6
		T13.8 4	T22.7 5
		T13.9 5	T23.0-2 6
		T14.0 6	T23.3 5
		T14.1 5	T23.4-6 6
		T14.2 2	T23.7 5
		T14.3-4 6	T24.0-2 6
		T14.5 5	T24.3 5
		T14.6 3	T24.4-6 6
		T14.7 2	T24.7 5
		T14.8-T15.8 6	T25.0-2 6
		T15.9 5	T25.3 5
		T16 6	T25.4-6 6
		T17.0-1 5	T25.7 5
		T17.2-4 2	T26.0-2 6
		T17.5 5	T26.3 5
		T17.8-9 2	T26.4-6 6
		T18.0-2 6	T26.7-T27.0 5
		T18.3-4 5	T27.1 5
		T18.5-T19.1 6	T27.2-T28.3 5
		T19.2 5	T28.4-6 6
		T19.3-8 6	T28.7 5
		T19.9 5	T28.8-9 6
		T20.0-2 6	T29.0 4
		T20.3 5	T29.1-2 6
		T20.4-6 6	T29.3 5
		T20.7 5	T29.4-6 6
		T21.0-2 6	T29.7 5
		T21.3 5	T30.0 5
			T30.1-2 6
			T30.3-4 5
			T30.5-6 6
			T30.7 5
			T31.0-2 5
			T31.3-4 4
			T31.5-6 5

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		T21.4-.6	T31.7-.9
		T21.7	T32.0-2
		T22.0-.2	T32.3-4
		T22.3	T32.5-6
		T22.4-.6	T32.7-9
		T22.7	T33
		T23.0-.2	T34.0-4
		T23.3	T34.5
		T23.4-.6	T34.6-9
		T23.7	T35.0-1
		T24.0-.2	T35.2-5
		T24.3	T35.6
		T24.4-.6	T35.7
		T24.7	T66
		T25.0-.2	T67.0
		T25.3	T67.1-3
		T25.4-.6	T67.4
		T25.7	T67.5-6
		T26.0-.2	T67.8
		T26.3	T67.9
		T26.4-.6	T68
		T26.7-T27.0	T69.0
		T27.1	T69.8
		T27.2-T28.3	T69.9
		T28.4-.6	T70.0
		T28.7	T70.1
		T28.8-9	T70.2
		T29.0	T70.3
		T29.1-.2	T70.4.8
		T29.3	T70.9
		T29.4-.6	T71
		T29.7	T73.0
		T30.0	T73.1
		T30.1-.2	T73.2
		T30.3-.4	T73.3
		T30.5-.6	T73.8-T74
		T30.7	T75.0
		T31.0-.2	T75.1
		T31.3-.4	T75.2-3
		T31.5-.6	T75.4
		T31.7-.9	T75.8
		T32.0-.2	T90.0-4
		T32.3-4	T90.5
		T32.5-.6	T90.8
		T32.7-9	T90.9
			T91.0-1
			T91.2-3
			T91.4
			T91.5-8
			T91.9
			T92.0-2
			T92.3-8

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		T33	T92.9
		T34.0-.4	T93.0
		T34.5	T93.1
		T34.6-.9	T93.2-.3
		T35.0-.1	T93.4
		T35.2-.5	T93.5-.9
		T35.6	T94.0-1
		T35.7	T95.0
		T66	T95.1
		T67.0	T95.2-.3
		T67.1-.3	T95.8-9
		T67.4	T98.0-1
		T67.5-.6	T98.2
		T67.8	
		T67.9	
		T68	
		T69.0	
		T69.8	
		T69.9	
		T70.0	
		T70.1	
		T70.2	
		T70.3	
		T70.4-.8	
		T70.9	
		T71	
		T73.0	
		T73.1	
		T73.2	
		T73.3	
		T73.8-T74	
		T75.0	
		T75.1	
		T75.2-.3	
		T75.4	
		T75.8	
		T90.0-.4	
		T90.5	
		T90.8	
		T90.9	
		T91.0-.1	
		T91.2-.3	
		T91.4	
		T91.5-.8	
		T91.9	

	現行	事務局仮訳	WHO勧告(原文)
		T92.0-.2 5 T92.3-.8 6 T92.9 3 T93.0 6 T93.1 5 T93.2-.3 6 T93.4 5 T93.5-.9 6 T94.0-.1 3 T95.0 6 T95.1 5 T95.2-.3 6 T95.8-.9 3 T98.0-.1 1 T98.2 6	
137	4.2.11 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 異なる分類項目に分類される医薬品が組み合わされている場合は、下記のように処理する： A) 原死因の選択 i) もし、その配合剤の一つの成分が、死因として明示されたならば、その成分にコードする。 例： I (a)アンフェタミンによる中毒 II 中毒レベルのヘロインならびにフルニトラゼパム アンフェタミンによる不慮の中毒(X41)にコードする。I欄でアンフェタミン中毒のみと位置付け、II欄で記載することによって、死亡診断書の作成者(医師)はアンフェタミンが死を引き起こした最重要物質と判断する。 例： I (a)アルコールによる中毒 II 中毒レベルのヘロインならびにフルニトラゼパム アルコールによる不慮の中毒(X45)にコードする。I欄でアルコール中毒のみと位置付け、II欄で他の物質は死因の一因となりうると記載することによって、死亡診断書の作成者(医師)はアルコールが死を引き起こした最重要物質と判断する。 例： I (a)ヘロインによる中毒	4.2.1112 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒 異なる分類項目に分類される医薬品が組み合わされている場合は、下記のように処理する： A) 原死因の選択 i) もし、その配合剤の一つの成分が、死因として明示されたならば、その成分にコードする。 例 5： I (a)アンフェタミンによる中毒 II 中毒レベルのヘロインならびにフルニトラゼパム アンフェタミンによる不慮の中毒(X41)にコードする。I欄でアンフェタミン中毒のみと位置付け、II欄で記載することによって、死亡診断書の作成者(医師)はアンフェタミンが死を引き起こした最重要物質と判断する。 例 6： I (a)アルコールによる中毒 II 中毒レベルのヘロインならびにフルニトラゼパム アルコールによる不慮の中毒(X45)にコードする。I欄でアルコール中毒のみと位置付け、II欄で他の物質は死因の一因となりうると記載することによって、死亡診断書の作成者(医師)はアルコールが死を引き起こした最重要物質と判断する。 例 7： I (a)ヘロインによる中毒	4.2.1112 Poisoning by drugs, medicaments and biological substances When combinations of medicinal agents classified differently are involved, proceed as follows: A) Selection of the underlying cause of death i) If one component of the combination is specified as the cause of death, code to that component. Ex.: I(a) Poisoning by amphetamine II Toxic levels of heroin and flunitrazepam Code to accidental poisoning by amphetamine (X41). By placing amphetamine poisoning alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death in Part II, the certifier has identified amphetamine as the most important substance in bringing about the death. Ex.: I(a) Poisoning by alcohol II Toxic levels of heroin and flunitrazepam Code to accidental poisoning by alcohol (X45). By placing alcohol poisoning alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death in Part II, the certifier has identified alcohol as the most important substance in bringing about the death. Ex.: I(a) Poisoning by heroin II Toxic levels of alcohol and flunitrazepam Code to accidental poisoning by heroin (X42). By placing heroin poisoning alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death, the certifier has identified heroin as the most important substance in bringing about the death. ii) When no component is specified as the main cause of death, clarification should be sought from the certifier. iii) When no such clarification can be obtained, code combinations of alcohol with a drug to the drug. For other multi-drug deaths, code to the appropriate category for "Other".

2010

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
	<p>II アルコールならびにフルニトラゼパムの中毒レベル</p> <p>ヘロインによる不慮の中毒 (X42) にコードする。I 欄でヘロイン中毒のみと位置付け、他の物質は死因の一因となりうると記載することによって、死亡診断書の作成者 (医師) はヘロインが死を引き起こした最重要物質と判断する。</p> <p>ii) 主たる死因の成分が明示されていない場合は、死亡診断書の作成者 (医師) から説明を求めるべきである。</p> <p>iii) そのような説明が得られない場合、アルコールと他の薬物との配合剤をコードする。その他の多くの薬剤が死因の場合、「その他」のコードを当てる。</p>	<p>II アルコールならびにフルニトラゼパムの中毒レベル</p> <p>ヘロインによる不慮の中毒 (X42) にコードする。I 欄でヘロイン中毒のみと位置付け、他の物質は死因の一因となりうると記載することによって、死亡診断書の作成者 (医師) はヘロインが死を引き起こした最重要物質と判断する。</p> <p>ii) 主たる死因の成分が明示されていない場合は、死亡診断書の作成者 (医師) から説明を求めるべきである。</p> <p>iii) そのような説明が得られない場合、アルコールと他の薬物との配合剤をコードする。その他の多くの薬剤が死因の場合、「その他」のコードを当てる。</p>	
		<p style="text-align: center;">2013</p> <p>4.2.12 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒</p> <p>異なる分類項目に分類される医薬品が組み合わされている場合は、下記のように処理する：</p> <p>A) 原死因の選択</p> <p>i) もし、その配合剤の一つの成分が、<u>死因死を引き起こした最重要物質として明示されたならば、その成分にコードする。</u></p> <p>例 x: I (a)ヘロインの不慮の過剰量 II ジアゼパム及びアミトリプチリン <u>ヘロインによる不慮の中毒 (X42) にコードする。I 欄でヘロイン中毒のみと位置付け、II 欄で記載することによって、死亡診断書の作成者 (医師) はヘロインが死を引き起こした最重要物質と判断する。</u></p> <p>例 5: I (a)アンフェタミンによる中毒 II 中毒レベルのヘロインならびにフルニトラゼパム</p> <p>アンフェタミンによる不慮の中毒 (X41) にコードする。I 欄でアンフェタミン中毒のみと位置付け、II 欄で記載することによって、死亡診断書の作成者 (医師) はアンフェタミンが死を引き起こした最重要物質と判断する。</p> <p>例 6: I (a)アルコールによる中毒 II 中毒レベルのヘロインならびにフルニトラゼパム</p> <p>アルコールによる不慮の中毒 (X45) にコードする。I 欄でアルコール中毒のみと位置付け、II 欄で他の物質は死因の一因となりうると記載することによって、死亡診断書の作成者 (医</p>	<p>4.2.12 Poisoning by drugs, medicaments and biological substances</p> <p>When combinations of medicinal agents classified differently are involved, proceed as follows:</p> <p>A) Selection of the underlying cause of death</p> <p>i) If one component of the combination is specified as the cause of death <u>most important substance in bringing about the death</u>, code to that component.</p> <p><u>Example x: I(a) Accidental heroin overdose II Diazepam and amitriptyline present</u></p> <p><u>Code to accidental poisoning by heroin (X42). By placing heroin overdose alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death in Part II, the certifier has identified heroin as the most important substance in bringing about the death.</u></p> <p>Example 5: I(a) Poisoning by amphetamine II Toxic levels of heroin and flunitrazepam Example 5: I(a) Poisoning by amphetamine II Toxic levels of heroin and flunitrazepam</p> <p>Code to accidental poisoning by amphetamine (X41). By placing amphetamine poisoning alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death in Part II, the certifier has identified amphetamine as the most important substance in bringing about the death.</p> <p>Example 6: I(a) Poisoning by alcohol II Toxic levels of heroin and flunitrazepam</p> <p>Code to accidental poisoning by alcohol (X45). By placing alcohol poisoning alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death in Part II, the certifier has identified alcohol as the most important substance in bringing about the death.</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告(原文)
		<p>師) はアルコールが死を引き起こした最重要物質と判断する。</p> <p>例 7: I (a)ヘロインによる中毒 II アルコールならびにフルニトラゼパムの中毒レベル</p> <p>ヘロインによる不慮の中毒(X42)にコードする。I欄でヘロイン中毒のみと位置付け、他の物質は死因の一因となりうると記載することによって、死亡診断書の作成者(医師)はヘロインが死を引き起こした最重要物質と判断する。</p> <p>ii) 主たる死因死を引き起こした最重要物質の成分が明示されていない場合は、死亡診断書の作成者(医師)から説明を求めるべきである。</p> <p>iii) そのような説明が得られない場合、アルコールと他の薬物との配合剤をコードする。その他の多くの薬剤が死因の場合、「その他」のコードを当てる。</p> <p>例 x: I (a)ヘロイン及びアンフェタミンの不慮の過剰量 その他及び詳細不明の薬物、薬剤及び生物学的製剤による不慮の中毒及び曝露(X44)にコードする。I欄に記載されているいずれの薬物も死を引き起こした最重要物質として明示されておらず、この二つの薬物の配合剤のコードも存在しない。</p>	<p>Example 7: I(a) Poisoning by heroin II Toxic levels of alcohol and flunitrazepam</p> <p>Code to accidental poisoning by heroin (X42). By placing heroin poisoning alone in Part I and reporting the other substances as contributing causes of death, the certifier has identified heroin as the most important substance in bringing about the death.</p> <p>ii) When no component is specified as the main cause of death <u>most important substance in bringing about the death</u>, clarification should be sought from the certifier.</p> <p>iii) When no such clarification can be obtained, code combinations of alcohol with a drug to the drug. For other multi-drug deaths, code to the appropriate category for "Other".</p> <p>Example x: I(a) Accidental overdose of heroin and amphetamine Code to accidental poisoning by and exposure to other and unspecified drugs, medicaments and biological substances (X44). Neither of the drugs reported in Part I is identified as the most important substance in bringing about the death and there is no specific code category for the combination of these substances.</p>
138		<p>iv) F10-F19 と中毒が同じ死亡診断書に記載されている場合は、下記のように処理する:</p> <p><u>F10-F19 精神作用物質使用による精神及び行動の障害</u></p> <p>下記の記載を伴うもの: X40-X49 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露、X40-X49 にコードする。 X60-X69 有害物質による中毒及び曝露にもとづく自傷及び自殺、X60-X69 にコードする。 X85-X90 有害物質による加害、X85-X90 にコードする。 Y10-Y19 薬物、化学物質及び有害物質による中毒及び曝露、Y10-Y19 にコードする。 4 桁細分類項目.0 (急性中毒)、X40-X49、X60-X69、X85-X90 又は Y10-Y19 にコードする。</p> <p>F10-F19 に分類される複数の病態が同じ死亡診断書に記載されている場合は、4.1.11 節参照。</p>	<p>iv) When F10-F19 is reported on the same record with a poisoning, proceed as follows: F10-F19 Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance use with mention of: X40-X49 Accidental poisoning by and exposure to noxious substances, code X40-X49 X60-X69 Intentional self-poisoning by and exposure to noxious substances, code X60-X69 X85-X90 Assault by noxious substances, code X85-X90 Y10-Y19 Poisoning by and exposure to drugs, chemicals and noxious substances, code Y10-Y19 Fourth character .0 (Acute intoxication), code X40-X49, X60-X69, X85-X90 or Y10-Y19 Refer to section 4.1.11 when multiple conditions classified to F10-F19 are reported on the same record.</p>
139	B) 最も危険な薬物の同定	B) 最も危険な薬物の同定	B) Identifying the most dangerous drug To provide useful statistics on multiple drug deaths, it is of utmost

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
	<p>さまざまな薬剤による死亡について、最も有用な統計を出すために一番重要なのは、原死因に加えて最も危険な薬物の同定を行うことである。最も危険な薬物を選択したら、次の要領に従う。</p> <p>もし配合剤の成分が死因として推定されたら、その成分にコードする。もし単一成分を死因とすることができないときは、アルコールと薬物の配合剤の場合は、薬物にコードする。分類に配合剤の項目があれば、その薬物の配合剤にコードする。もし、配合剤の適切な分類項目がなければ、以下に示す優先順位に従って、コードをつける。分類中に、たとえば、抗てんかん薬の配合剤 (T42.5) など、薬物の配合薬に対して、特定の分類項目が規定されている場合は、その項目にコードする。もし、適切な配合薬分類項目がない場合は、下記の優先順位に従って主たる損傷コードを選択する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オピオイド (T40.0-T40.2) T40.0-T40.2 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能なオピオイドを含む配合薬: T40.2 にコードする。 2. コカイン (T40.5) 3. 乱用される可能性のある興奮薬 (T43.6) 包含: アンフェタミンならびにその誘導体 4. 合成麻薬ならびにその他の詳細不明の麻薬 (T40.3-T40.4、T40.6) T40.3-T40.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な合成麻薬を含む配合剤:T40.4 にコードする。 T40.3-T40.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な合成麻薬、および T40.6 に分類可能なその他の詳細不明な麻薬を含む配合薬:T40.6 にコードする。 5. 抗うつ薬 (T43.0-T43.2) T43.0-T43.2 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な抗うつ薬を含む配合薬:T43.2 にコードする。 6. 非オピオイド系鎮痛薬 (T39.-) T39.0-T39.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な非オピオイド系鎮痛薬を含む配合薬: T39.8 にコードする。 7. 上記以外の薬物および製剤 もし、死亡診断書に複数のこのような薬剤が記載されている場合は、最初に記載されたものをコードする。 	<p>さまざまな薬剤による死亡について、最も有用な統計を出すために一番重要なのは、原死因に加えて最も危険な薬物の同定を行うことである。最も危険な薬物を選択したら、次の要領に従う。</p> <p>もし配合剤の成分が死因として推定されたら、その成分にコードする。もし単一成分を死因とすることができないときは、アルコールと薬物の配合剤の場合は、薬物にコードする。分類に配合剤の項目があれば、その薬物の配合剤にコードする。もし、配合剤の適切な分類項目がなければ、以下に示す優先順位に従って、コードをつける。分類中に、たとえば、抗てんかん薬の配合剤 (T42.5) など、薬物の配合薬に対して、特定の分類項目が規定されている場合は、その項目にコードする。もし、適切な配合薬分類項目がない場合は、下記の優先順位に従って主たる損傷コードを選択する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オピオイド (T40.0-T40.2) T40.0-T40.2 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能なオピオイドを含む配合薬: T40.2 にコードする。 2. コカイン (T40.5) 3. 乱用される可能性のある興奮薬 (T43.6) 包含: アンフェタミンならびにその誘導体 4. 合成麻薬ならびにその他の詳細不明の麻薬 (T40.3-T40.4、T40.6) T40.3-T40.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な合成麻薬を含む配合剤:T40.4 にコードする。 T40.3-T40.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な合成麻薬、及び T40.6 に分類可能なその他の詳細不明な麻薬を含む配合薬:T40.6 にコードする。 5. 抗うつ薬 (T43.0-T43.2) T43.0-T43.2 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な抗うつ薬を含む配合薬:T43.2 にコードする。 6. 非オピオイド系鎮痛薬 (T39.-) T39.0-T39.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な非オピオイド系鎮痛薬を含む配合薬: T39.8 にコードする。 7. 上記以外の薬物及び製剤 もし、死亡診断書に複数のこのような薬剤が記載されている場合は、最初に記載されたものをコードする。 <p>死亡診断書に同じ優先順位に属する薬剤が複数記載されている場合は、最初に記載されたものをコードする。</p>	<p>importance that the most dangerous drug is identifiable in addition to the underlying cause (see also <i>Nature of injury</i>, pp 86-87). When selecting the code for the most dangerous drug, apply the following instructions. If one component of the combination is specified as the cause of death, code to that component. If no single component is indicated as the cause of death, code combinations of alcohol with a drug to the drug. When the classification provides a specific category for a combination of drugs, e.g. mixed antiepileptics (T42.5), code to that category. If no appropriate combination category is available, select the main injury code in the following order of priority:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Opioids (T40.0-T40.2) Combinations including opioids classifiable to more than one fourth-character subcategory in T40.0-T40.2: Code to T40.2 2. Cocaine (T40.5) 3. Psychostimulants with abuse potential (T43.6) Includes: Amphetamine and derivatives 4. Synthetic narcotics and other and unspecified narcotics (T40.3-T40.4, T40.6) Combinations including synthetic narcotics classifiable to more than one fourth-character subcategory in T40.3-T40.4: Code to T40.4 Combinations including synthetic narcotics classifiable to more than one fourth-character subcategory in T40.3-T40.4 with other and unspecified narcotics classifiable to T40.6: Code to T40.6 5. Antidepressants (T43.0-T43.2) Combinations including antidepressants classifiable to more than one fourth-character subcategory in T43.0-T43.2: Code to T43.2 6. Non-opioid analgesics (T39.-) Combinations including non-opioid analgesics classifiable to more than one fourth-character subcategory in T39.0-T39.4: Code to T39.8 7. Drugs and substances not listed above <p>If the death certificate reports more than one such drug, code to the first mentioned. <u>If there is more than one drug in the same priority group, code to the first mentioned.</u></p>



	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		<p>B) <u>損傷の主たる性質のコーディングのための最も危険な薬物の同定</u></p> <p>さまざまな薬剤による死亡について、最も有用な統計を出すために一番重要なのは、原死因に加えて最も危険な薬物に係る<u>損傷の性質コードの同定</u>を行うことである（「4.2.1110-<u>損傷の性質</u>」も参照）。最も危険な薬物を選択したら、次の要領に従って<u>損傷の主たる性質のコード</u>を選択する。</p> <p>もし配合剤の成分が死因として推定されたら、その成分の<u>損傷の主たる性質</u>にコードする。もし単一成分を死因とすることができないときは、アルコールと薬物の配合剤の場合は、薬物にコードする。分類に配合剤の項目があれば、その薬物の配合剤にコードする。もし、配合剤の適切な分類項目がなければ、以下に示す優先順位に従って、コードをつける。分類中に、たとえば、抗てんかん薬の配合剤 (T42.5) など、薬物の配合薬に対して、特定の分類項目が規定されている場合は、その項目にコードする。もし、適切な配合薬分類項目がない場合は、下記の優先順位に従って<u>主たる損傷の主たる性質のコード</u>を選択する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オピオイド (T40.0-T40.2) T40.0-T40.2 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能なオピオイドを含む配合薬: T40.2 にコードする。 2. コカイン (T40.5) 3. 乱用される可能性のある興奮薬 (T43.6) 包含: アンフェタミンならびにその誘導体 4. 合成麻薬ならびにその他の詳細不明の麻薬 (T40.3-T40.4, T40.6) T40.3-T40.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な合成麻薬を含む配合剤: T40.4 にコードする。 T40.3-T40.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な合成麻薬、及び T40.6 に分類可能なその他の詳細不明な麻薬を含む配合薬: T40.6 にコードする。 5. 抗うつ薬 (T43.0-T43.2) T43.0-T43.2 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な抗うつ薬を含む配合薬: T43.2 にコードする。 6. 非オピオイド系鎮痛薬 (T39.-) T39.0-T39.4 の複数の 4 桁細分類項目に分類可能な非オピオイド系鎮痛薬を含む配合薬: T39.8 にコードする。 7. 上記以外の薬物及び製剤 もし、死亡診断書に複数のこのような薬剤が記載されている場合 	<p>B) Identifying the most dangerous drug for <u>main nature of injury coding</u></p> <p>To provide useful statistics on multiple drug deaths, it is of utmost importance that the <u>nature of injury code for the</u> most dangerous drug is identified in addition to the underlying cause code (see also Nature of injury, pp 86-87). When selecting the <u>main nature of injury</u> code for the most dangerous drug, apply the following instructions.</p> <p>If one component of the combination is specified as the cause of death, code <u>the main nature of injury</u> to that component. If no single component is indicated as the cause of death, code combinations of alcohol with a drug to the drug. When the classification provides a specific category for a combination of drugs, e.g. mixed antiepileptics (T42.5), code to that category. If no appropriate combination category is available, select the main <u>nature of injury</u> code in the following order of priority:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Opioids (T40.0-T40.2) Combinations including opioids classifiable to more than one fourth-character subcategory in T40.0-T40.2: Code to T40.2 2. Cocaine (T40.5) 3. Psychostimulants with abuse potential (T43.6) Includes: Amphetamine and derivatives 4. Synthetic narcotics and other and unspecified narcotics (T40.3-T40.4, T40.6) Combinations including synthetic narcotics classifiable to more than one fourth-character subcategory in T40.3-T40.4: Code to T40.4 Combinations including synthetic narcotics classifiable to more than one fourth-character subcategory in T40.3-T40.4 with other and unspecified narcotics classifiable to T40.6: Code to T40.6 5. Antidepressants (T43.0-T43.2) Combinations including antidepressants classifiable to more than one fourth-character subcategory in T43.0-T43.2: Code to T43.2 6. Non-opioid analgesics (T39.-) Combinations including non-opioid analgesics classifiable to more than one fourth-character subcategory in T39.0-T39.4: Code to T39.8 7. Drugs and substances not listed above If the death certificate reports more than one such drug, code to the first mentioned. <p><u>Example:</u> I(a) <u>Heroin, cocaine, diazepam and amitriptyline overdose</u></p> <p><u>Underlying cause of death:</u> Code to <u>accidental poisoning by and exposure to other and unspecified drugs, medicaments and biological substances (X44)</u>. None of the drugs reported in Part I are identified as the most important substance in bringing about the death and there is no specific code category for the combination of these substances.</p> <p><u>Main nature of injury:</u> Code to <u>poisoning by heroin (T40.1)</u>. On the priority list above, heroin is in group 1, cocaine (T40.5) is in group 2, diazepam (T42.4) is in group 7 and amitriptyline (T43.0) is in group 5.</p> <p><u>Example:</u> I(a) <u>Accidental poisoning by alcohol, heroin and diazepam</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）
		<p>は、最初に記載されたものをコードする。</p> <p>例 x: I (a) <u>ヘロイン、コカイン、ジアゼパム及びアミトリプチリンの過剰量</u> 原死因：その他及び詳細不明の薬物、薬剤及び生物学的製剤による不慮の中毒及び曝露（X44）にコードする。I 欄で記載するいずれの薬物も死を引き起こした最重要物質であることが明確に示されておらず、これらの薬物の配合薬分類項目も存在しない。</p> <p>損傷の主たる性質：ヘロインによる中毒（T40.1）にコードする。上記の優先順位のリストでヘロインは第 1 グループに、コカイン（T40.5）は第 2 グループに、ジアゼパム（T42.4）は第 7 グループに、アミトリプチリン（T43.0）は第 5 グループにそれぞれ属している。</p> <p>例 x: I (a) <u>アルコール、ヘロイン及びジアゼパムによる不慮の中毒</u> 原死因：その他及び詳細不明の薬物、薬剤及び生物学的製剤による不慮の中毒及び曝露（X44）にコードする。アルコールと薬物の組み合わせによる中毒は、薬物にコードする（4.2.11 A iii）を参照）。I 欄で記載するいずれの薬物も死を引き起こした最重要物質であることが明確に示されておらず、これらの薬物の配合薬分類項目も存在しない。</p> <p>損傷の主たる性質：ヘロインによる中毒（T40.1）にコードする。上記の優先順位のリストでヘロインは第 1 グループに、ジアゼパム（T42.4）は第 7 グループにそれぞれ属している。</p> <p>死亡診断書に同じ優先順位に属する薬剤が複数記載されている場合は、最初に記載されたものをコードする。</p>	<p><u>Underlying cause of death: Code to accidental poisoning by and exposure to other and unspecified drugs, medicaments and biological substances (X44). Poisoning by combinations of alcohol and drug(s) are coded to the drug(s) (see instruction 4.2.11, A. iii). Neither of the drugs reported in Part I is identified as the most important substance in bringing about the death and there is no specific code category for the combination of these substances</u></p> <p><u>Main nature of injury: Code to poisoning by heroin (T40.1 On the priority list above, heroin (T40.1) is in priority group 1 and diazepam (T42.4) is in group 7.</u></p>
140	<p>4.2.12 外因</p> <p>病態が第 XIX 章（損傷、中毒およびその他の外因の影響）に分類される場合、そしてそのような場合のみ、外因のコード（V01-Y89）が、単一病態コーディングのための一次コードおよび原因の製表のための一次コードとして用いられる。</p> <p>病態が第 I 章から第 XVIII 章に分類される場合、病態それ自身は、原因としてコードされるべきであり、もし、望むならば、追加コードとして、外因に対する章からの分類項目を使用してもよい。</p>	<p>4.2.12 外因</p> <p>病態が第 XIX 章（損傷、中毒及びその他の外因の影響）に分類される場合、そしてそのような場合のみ、外因のコード（V01-Y89）が、単一病態コーディングのための一次コード及び原因の製表のための一次コードとして用いられる。</p> <p>病態が第 I 章から第 XVIII 章に分類される場合、病態それ自身は、原因としてコードされるべきであり、もし、望むならば、追加コードとして、外因に対する章からの分類項目を使用してもよい。</p> <p>外因として一連の事象が記載されている場合、一般原則及び選択</p>	<p>4.2.12 External causes</p> <p>The codes for external causes (V01-Y89) should be used as the primary codes for single-condition coding and tabulation of the underlying cause when, and only when, the morbid condition is classifiable to Chapter XIX (Injury, poisoning and certain other consequences of external causes). When the morbid condition is classified to Chapters I-XVIII, the morbid condition itself should be coded as the underlying cause and categories from the chapter for external causes may be used, if desired, as supplementary codes.</p> <p><u>When a sequence of external events is reported, apply the General Principle and the selection rules in the normal way, and select the first external event that affected the decedent.</u></p> <p><u>Example: I (a) Hypothermia</u> <u>(b) Exposure to cold</u> <u>(c) Driver of car, left road, rolled down embankment, trapped</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）
		<p>ルールを通常の方法で適用して、死亡者に影響を及ぼした最初の事象を選ぶ。</p> <p>例： I (a) 低体温 (b) 低温の作用 (c) 自動車運転者、道を逸れて土堤を転落、発見されるまで3日間、自動車に閉じ込められる。</p> <p>衝突以外の交通事故により受傷した乗用車運転者（V48.5）にコードする。</p>	<p><u>in car 3 days before discovery</u> <u>Code to driver of car injured in noncollision transport accident (V48.5)</u></p>
141	<p>4.2.14 疑わしい診断を示す表現 「明らかに」、「推定される」、「可能性がある」等のように、診断の正確性について疑いを示す修飾的表現は、無視しなければならない。それは、このような修飾が記載されている場合とない場合とでは、単に診断の正確性の程度が違うだけだからである。</p>	<p>4.2.14 疑わしい診断を示す表現 「明らかにどうやら～らしい」、「推定される」、「可能性がある」等のように、診断の正確性について疑いを示す修飾的表現は、無視しなければならない。それは、このような修飾が記載されている場合とない場合とでは、単に診断の正確性の程度が違うだけだからである。</p> <p>死亡診断書の作成者が、「甲又は乙のどちらか」やそれと同様の表現を使って死因が一方又は他方の死因であると記載した場合、下記の指示に従う。</p> <p>1. 一つの病態に対して、「甲又は乙の部位」の記載 a. <u>記載された部位が属するグループ又は解剖学的系統の残余の分類項目にコードする。</u> 例： I (a) 腎臓又は膀胱のがん 尿路の悪性新生物，部位不明（C68.9）にコードする。</p> <p>b. <u>記載された部位が異なる解剖学的系統に属する場合又は記載された部位が属するグループ又は解剖学的系統に残余の分類項目が存在しない場合、記載された疾病又は病態の残余の分類項目にコードする。</u> 例： I (a) 副腎又は腎臓のがん 副腎と腎臓はそれぞれ異なる解剖学的系統に属するため、原発性悪性新生物，原発部位不明（C80.9）にコードする。</p> <p>2. 一つの部位又は系統に対して、「甲又は乙の病態」の記載 a. <u>記載された病態が同一の3桁分類項目の異なる4桁分類項目に属する場合、「詳細不明」の4桁分類項目にコードする。</u> 例： I (a) 冠動脈硬化又は冠動脈瘤 慢性虚血性心疾患，詳細不明（I25.9）にコードする。</p> <p>b. <u>記載された病態が異なる3桁分類項目に属するが、ICD-10に</u></p>	<p>Section 4.2.14 Expressions indicating doubtful diagnosis Qualifying expressions indicating some doubt as to the accuracy of the diagnosis, such as "apparently", "presumably", "possibly", etc., should be ignored, since entries without such qualification differ only in the degree of certainty of the diagnosis.</p> <p><u>When the certifier uses "either...or..." or a synonymous expression to indicate that death was due to either one cause of death or another, apply the following instructions.</u></p> <p>1. <u>One condition, either one site or another</u></p> <p>a. <u>Code to the residual category for the group or anatomical system in which the reported sites are classified.</u> Ex.: I (a) Cancer of kidney or bladder <u>Code to malignant neoplasm, urinary organ, unspecified (C68.9)</u></p> <p>b. <u>If the reported sites are in different anatomical systems or if there is no residual category for the group or anatomical system, code to the residual category for the disease or condition specified.</u> Ex.: I (a) Cancer of adrenal or kidney <u>Code to primary malignant neoplasm, primary site unspecified (C80.9), since adrenal and kidney are in different anatomical systems.</u></p> <p>2. <u>One site or system, either one condition or another</u></p> <p>a. <u>If the reported conditions are classifiable to different four character subcategories of the same three character category, code to the four-character subcategory for "unspecified".</u> Ex.: I (a) Arteriosclerotic heart disease or coronary aneurysm <u>Code to chronic ischemic heart disease, unspecified (I25.9).</u></p> <p>b. <u>If the reported conditions are classifiable to different three character categories but ICD-10 provides a residual category for the disease in</u></p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)								
		<p>当該疾病全般の残余の分類項目がある場合、その残余の分類項目にコードする。</p> <p>例：I (a) 心筋梗塞又は冠動脈瘤 慢性虚血性心疾患，詳細不明 (I25.9) にコードする。</p> <p>c. 記載された病態が異なる 3 桁分類項目に属し、ICD-10 に当該疾病全般の残余の分類項目もない場合、当該疾病の解剖学的部位又は系統の残余の分類項目にコードする。</p> <p>例：I (a) 肺の結核又はがん 病態はいずれも肺に関わるため、肺のその他の障害 (J98.4) にコードする。</p> <p>例：I (a) 脳卒中又は心臓発作 病態はいずれも循環系の病態であるため、循環器系のその他及び詳細不明の障害 (I99) にコードする。</p> <p>3. 「甲又は乙の病態、丙又は丁の部位」の記載 解剖学的に異なる系統における異なる疾病が「一方又は他方」の関係で記載されている場合、その他の明示された全身症状及び徴候 (R68.8) にコードする。</p> <p>例：I (a) 胆嚢仙痛又は冠動脈血栓 その他の明示された全身症状及び徴候 (R68.8) にコードする。</p> <p>4. 「疾病又は損傷」の記載 死亡が疾病又は損傷によるものと記載されている場合、その他の診断名不明確及び原因不明の死亡 (R99) にコードする。</p> <p>例：I (a) 冠状閉塞又は戦傷 その他の診断名不明確及び原因不明の死亡 (R99) にコードする。</p>	<p><u>general, code to the residual category.</u></p> <p>Ex.: <u>I (a) MI or coronary aneurysm</u> <u>Code to the residual category for ischemic heart disease (I25.9).</u></p> <p><u>c. If the reported conditions are classifiable to different three character categories and there is no residual category for the disease in general, code to the residual category relating to the disease of the anatomical site/system.</u></p> <p>Ex.: <u>I (a) Tuberculosis or cancer of lung</u> <u>Code to other disorders of lung (J98.4). Both conditions involve the lung.</u></p> <p>Ex.: <u>I (a) Stroke or heart attack</u> <u>Code to other and unspecified disorders of circulatory system (I99). Both conditions are in the circulatory system.</u></p> <p><u>3. Either one condition or another, either one site or another</u></p> <p><u>When different diseases of different anatomical systems are reported as "either...or", code to other specified general symptoms and signs (R68.8).</u></p> <p>Ex.: <u>I (a) Gallbladder colic or coronary thrombosis</u> <u>Code to other specified general symptoms and signs (R68.8).</u></p> <p><u>4. Either disease or injury</u></p> <p><u>When death is reported as due to either a disease or an injury, code to other ill-defined and unspecified causes of mortality (R99).</u></p> <p>Ex.: <u>I (a) Coronary occlusion or war injuries</u> <u>Code to other ill-defined and unspecified causes of mortality (R99).</u></p>								
142	<p>4.2.14 ヒト免疫不全ウイルス (HIV)</p> <p>何らかの病態 (たとえば血液疾患) に対し、治療として輸血された場合および感染した血液が供給され HIV に感染した場合、治療の対象とされた病態ではなく、HIV を原死因としてコードする。</p> <p>例 1: I (a) カポジ肉腫 1年 (b) HIV 3年 (c) 輸血 5年</p>	<p>4.2.1415 ヒト免疫不全ウイルス (HIV)</p> <p>何らかの病態 (たとえば血液疾患) に対し、治療として輸血された場合及び感染した血液が供給され HIV に感染した場合、治療の対象とされた病態ではなく、HIV を原死因としてコードする。</p> <p>例 1: I (a) カポジ<Kaposi>肉腫 1年 (b) HIV 3年 (c) 輸血 5年</p>	<p>4.2.14 Human Immunodeficiency Virus (HIV)</p> <p>When a blood transfusion is given as treatment for any condition (e.g. a haematological disorder) and an infected blood supply results in a HIV infection, code the HIV as the underlying cause and not the treated condition.</p> <p>Example 1:</p> <table border="0"> <tr> <td>I (a) Kaposi's sarcoma</td> <td>1 year</td> </tr> <tr> <td>(b) HIV</td> <td>3 years</td> </tr> <tr> <td>(c) Blood transfusion</td> <td>5 years</td> </tr> <tr> <td>(d) Haemophilia</td> <td>since birth</td> </tr> </table> <p>Code to HIV.</p>	I (a) Kaposi's sarcoma	1 year	(b) HIV	3 years	(c) Blood transfusion	5 years	(d) Haemophilia	since birth
I (a) Kaposi's sarcoma	1 year										
(b) HIV	3 years										
(c) Blood transfusion	5 years										
(d) Haemophilia	since birth										

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
	<p>(d)血友病 出生後</p> <p>HIV にコードする。</p> <p>例 2: I (a) ニューモシスチス・カリニ 6 ヶ月 (b) HIV 5年 (c) 脾破裂 7年 (d) 暴行—素手の殴り合い 7年</p> <p>HIV にコードする。</p>	<p>(d)血友病 出生後</p> <p>HIV にコードする。</p> <p>例 2: I (a) ニューモシスチス・カリニ[jirovecii]6 ヶ月 (b) HIV 5年 (c) 脾破裂 7年 (d) 暴行—素手の殴り合い 7年</p> <p>HIV にコードする。</p>	<p>Example 2: I (a) <i>Pneumocystis carinii</i>[<u>jirovecii</u>] 6 months (b) HIV 5 years (c) Ruptured spleen 7 years (d) Assault – fist fight 7 years</p> <p>Code to HIV.</p>
143		<p>4.2 死因記載の解釈についての注</p> <p>4.2.1 中間原因の仮定</p> <p>4.2.2 「因果関係がほとんどない」の解釈</p> <p>4.2.3 分類に対する期間の影響</p> <p>...</p> <p>4.2.16 妊産婦<母体>の(産科学的な)原因による死亡</p> <p>a) 特に間接的な産科的原因の症例では、妊産婦<母体>の死亡を確認することが困難なことが多い。死因が産科的なことであるということが疑わしい場合、例えば I 欄に記入された病態が産科的でなく、II 欄において妊娠又は分娩の記載がある場合、死亡診断書作成者(医師)の確認を取るべきである。妊産婦<母体>死亡率が高い国々では、これは特に重要である。更なる情報が得られない場合、I 欄において妊娠及び分娩の記載のある死亡は産科的と考えるべきであるが、II 欄においてのみ妊娠又は分娩の記載のある死亡は産科的と考えるべきではない。</p> <p>b) 妊産婦<母体>死亡率を計算する場合、間接産科的原因について 4.2.16 節 a)に概説されている規定に適合するという前提で、第 15 章(O コード)にコードされない一定の症例も妊産婦<母体>死亡率に含めるべきである。これらの症例は、第 15 章の冒頭の「除外」に記載されている。</p> <p>c) 妊産婦<母体>死亡率の計算に組み入れられない産科的原因による死亡の症例がある。これらの症例は、死亡が分娩後 42 日以降に発生する症例である(5.8.1 節「妊産婦<母体>死亡の定義を参照」)。</p>	<p>4.2 Notes for interpretation of entries of causes of death</p> <p>4.2.1 Assumption of intervening cause</p> <p>4.2.2 Interpretation of “highly improbable”</p> <p>4.2.3 Effect of duration on classification</p> <p>...</p> <p>4.2.15 Death due to maternal (obstetric) causes</p> <p>a) <u>It is often difficult to identify a maternal death, particularly in cases of indirect obstetric causes. If there is any doubt that the cause of death is obstetrical, for example if the conditions entered in Part I are not obstetrical but there is a mention of pregnancy or delivery in Part II, additional information should be sought from the certifier. This is particularly important in countries where maternal mortality rate is high. If no additional information can be found, deaths with a mention of pregnancy and delivery in Part I should be considered obstetrical, but not deaths where pregnancy or delivery is mentioned in Part II only.</u></p> <p>b) <u>Note that when calculating maternal mortality rates, certain cases not coded to Chapter XV (O codes) should be included, provided that they meet the specifications outlined in section 4.2.15 a) for indirect obstetric causes. These cases are listed in the “Exclusion Note” at the beginning of Chapter XV.</u></p> <p>c) <u>There are cases of death due to obstetric causes that are not included in the calculation of the maternal death rate. These are those cases in which death occurs more than 42 days after delivery (see definition of “Maternal death” on page 134, Volume 2, ICD-10).</u></p>
144		<p>4.2.17 糖尿病の原因となり得る病態のリスト</p> <p>付表 10.2 は、糖尿病の原因となり得る病態のリストである。このリストは、糖尿病の他の疾患「による」ものとして認められる上下の因果関係を示すものである。</p>	<p>4.2.17 List of conditions that can cause diabetes</p> <p><u>In Appendix 7.2 is a list of the conditions that can cause diabetes. This list provides the acceptable sequences for diabetes “due to” other diseases.</u></p>
145	<p>4.3.5 コーディング・ルール</p> <p>ルールP3. (a)欄または(c)欄に記載のないもの</p>	<p>4.3.5 コーディング・ルール</p> <p>ルールP3. (a)欄又は(c)欄に記載のないもの</p>	<p>4.3.5 Coding rules</p> <p>Rule P3. No entry in sections (a) or (c).</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
	<p>…</p> <p>例6： 出生；2日で死亡 コーディング</p> <p>(a) - P95</p> <p>(b) -</p> <p>(c) - P00.0</p> <p>(d) 子かんく痙 > (長期の本態性高血圧)</p> <p>詳細不明の周産期の原因は、(a)欄にコードする：子かんく痙 > は、(c)欄にコードする。</p>	<p>…</p> <p>例6： 出生；2日で死亡 コーディング</p> <p>(a) - P95 <u>P96.9</u></p> <p>(b) -</p> <p>(c) - P00.0</p> <p>(d) 子かんく痙 > (長期の本態性高血圧)</p> <p>詳細不明の周産期の原因は、(a)欄にコードする：子かんく痙 > は、(c)欄にコードする。</p>	<p>…</p> <p>Example 6: Liveborn; death at 2 days Coding</p> <p>(a) …………… P95 <u>P96.9</u></p> <p>(b) ……………</p> <p>(c) ……………</p> <p>(d) Eclampsia (longstanding essential hypertension)</p> <p>Unspecified perinatal cause is coded at (a); eclampsia is coded at (c).</p>
146	<p>4.4.1 疾病データの単一病態分析の診断情報記録のためのガイドライン</p> <p>…</p> <p>特性および詳細</p> <p>…</p> <p>- 糖尿病性白内障、インスリン依存性</p> <p>4.4.2 「主要病態」および「その他の病態」のコーディングのためのガイドライン</p> <p>任意的追加コード</p> <p>…</p> <p>複合分類項目のコーディング</p> <p>…</p> <p>例11： 主要病態 : 白内障、インスリン依存性糖尿病 その他の病態：高血圧 (症) 専門科目 : 眼科</p> <p>「主要病態」として眼科的合併症を伴うインスリン依存性糖尿病 (E10.3+) および糖尿病性白内障 (H28.0*) にコードする。</p> <p>例12： 主要病態 : インスリン非依存性糖尿病 その他の病態：高血圧 関節リウマチ 白内障 専門科目 : 一般内科</p> <p>「主要病態」として合併症を伴わないインスリン非依存性糖尿病 (E11.9) にコードする。この症例では、糖尿病および白内障の両者が「主要病態」の下に記録されていないので、連鎖はすべきでないことに注意する。</p> <p>4.4.3 主要病態が正確に記載されていない場合の再選択ルール</p> <p>主要病態の再選択ルール</p> <p>ルールMB3：「主要病態」として記載された病態が、診断され、治療された病態の症状を表している</p> <p>例12： 主要病態 : 昏睡</p>	<p>4.4 疾病統計</p> <p>4.4.1 疾病データの単一病態分析の診断情報記録のためのガイドライン</p> <p>…</p> <p>特性及び詳細</p> <p>…</p> <p>- 糖尿病性白内障、インスリン依存性<u>1型</u></p> <p>4.4.2 「主要病態」及び「その他の病態」のコーディングのためのガイドライン</p> <p>任意的追加コード</p> <p>…</p> <p>複合分類項目のコーディング</p> <p>…</p> <p>例11： 主要病態 : 白内障、インスリン依存性<u>1型</u>糖尿病 その他の病態：高血圧 (症) 専門科目 : 眼科</p> <p>「主要病態」として眼科的合併症を伴うインスリン依存性<u>1型</u>糖尿病 (E10.3+) 及び糖尿病性白内障 (H28.0*) にコードする。</p> <p>例12： 主要病態 : インスリン依存性<u>2型</u>糖尿病 その他の病態：高血圧 関節リウマチ 白内障 専門科目 : 一般内科</p> <p>「主要病態」として合併症を伴わないインスリン依存性<u>2型</u>糖尿病 (E11.9) にコードする。この症例では、糖尿病及び白内障の両者が「主要病態」の下に記録されていないので、連鎖はすべきでないことに注意する。</p> <p>4.4.3 主要病態が正確に記載されていない場合の再選択ルール</p>	<p>4.4 Morbidity</p> <p>4.4.1 Guidelines for recording diagnostic information for single condition analysis of morbidity data</p> <p>…</p> <p>Specificity and detail</p> <p>…</p> <p>• Diabetic cataract, insulin dependent <u>type 1</u></p> <p>4.4.2 Guidelines for coding “main condition” and “other conditions”</p> <p><i>Optional additional codes</i></p> <p>……</p> <p><i>Coding of combination categories</i></p> <p>…</p> <p>Example 11</p> <p>Main condition: Cataract, insulin dependent <u>Type 1</u> diabetes mellitus</p> <p>Other conditions: Hypertension</p> <p>Specialty: Ophthalmology</p> <p>Code to insulin dependent <u>type 1</u> diabetes mellitus with ophthalmic complications (E10.3+) and diabetic cataract (H28.0*) as the “main condition”.</p> <p>Example 12</p> <p>Main condition: Non insulin dependent <u>Type 2</u> diabetes mellitus</p> <p>Other conditions: Hypertension Rheumatoid arthritis Cataract</p> <p>Specialty: General medicine</p> <p>Code to non insulin dependent <u>type 2</u> diabetes mellitus without complications (E11.9) as “main condition”. Note that in this example the linkage of cataract with diabetes must not be made since they are not both recorded under “main condition”.</p> <p>4.4.3 Rules for reselection when the main condition is incorrectly recorded</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
	<p>その他の病態：虚血性心疾患 耳硬化症 インスリン依存性糖尿病</p> <p>専門科目：内分泌科 ケア：インスリンの適切な投与量の確立</p> <p>インスリン依存性糖尿病を「主要病態」として再選択し、E10.0にコードする。記載された情報によると、昏睡は糖尿病によるものと考えられ、昏睡はコーディングを修飾するものとして扱う。</p> <p>4.4.4 章ごとの注釈</p> <p>第IV章：内分泌、栄養および代謝疾患</p> <p>E10-E14 糖尿病</p> <p>例13：主要病態：腎症<ネフロパシー>、え<壊>痘および白内障を伴うインスリン依存性糖尿病</p> <p>その他の病態：-</p> <p>多発合併症を伴うインスリン依存性糖尿病 (E10.7) にコードする。E10.2†およびN08.3* (腎症<ネフロパシー>を伴うインスリン依存性糖尿病)、E10.5 (末梢循環合併症を伴うインスリン依存性糖尿病)、E10.3†およびH28.0* (白内障を伴うインスリン依存性糖尿病) は、個々の合併症を明示するために任意的追加コードとして使用することができる。</p>	<p>主要病態の再選択ルール</p> <p>ルールMB3：「主要病態」として記載された病態が、診断され、治療された病態の症状を表している</p> <p>例12：主要病態：昏睡 その他の病態：虚血性心疾患 耳硬化症 インスリン依存性1型糖尿病</p> <p>専門科目：内分泌科 ケア：インスリンの適切な投与量の確立</p> <p>インスリン依存性1型糖尿病を「主要病態」として再選択し、E10.0にコードする。記載された情報によると、昏睡は糖尿病によるものと考えられ、昏睡はコーディングを修飾するものとして扱う。</p> <p>4.4.4 章ごとの注釈</p> <p>第IV章：内分泌、栄養及び代謝疾患</p> <p>E10-E14 糖尿病</p> <p>例13：主要病態：腎症<ネフロパシー>、え<壊>痘及び白内障を伴うインスリン依存性1型糖尿病</p> <p>その他の病態：-</p> <p>多発合併症を伴うインスリン依存性1型糖尿病 (E10.7) にコードする。E10.2†及びN08.3* (腎症<ネフロパシー>を伴うインスリン依存性1型糖尿病)、E10.5 (末梢循環合併症を伴うインスリン依存性1型糖尿病)、E10.3†及びH28.0* (白内障を伴うインスリン依存性1型糖尿病) は、個々の合併症を明示するために任意的追加コードとして使用することができる。</p>	<p>Rules for reselection of main condition</p> <p>Rule MB3. Condition recorded as “main condition” Is presenting symptom of diagnosed, treated condition</p> <p>Example 12 Main condition: Coma Other conditions: Ischaemic heart disease Otosclerosis Type 1 Diabetes mellitus, insulin dependent</p> <p>Specialty: Endocrinology Care: Establishment of correct dose of insulin</p> <p>Reselect type 1 diabetes mellitus, insulin dependent as the “main condition” and code to E10.0. The information provided indicates that the coma was due to diabetes mellitus and coma is taken into account as it modifies the coding.</p> <p>4.4.4 Chapter-specific notes Chapter IV: Endocrine, nutritional and metabolic diseases</p> <p>E10-E14 Diabetes mellitus</p> <p>Example 13 Main condition: Type 1 insulin dependent diabetic with nephropathy, gangrene and cataracts Other conditions: -</p> <p>Code to type 1 insulin dependent diabetes mellitus with multiple complications (E10.7). Codes E10.2† and N08.3* (Type 1 insulin dependent diabetes with nephropathy), E10.5 (Type 1 insulin dependent diabetes with peripheral circulatory complications) and E10.3† and H28.0* (Type 1 insulin dependent diabetes with cataract) may be added as optional additional codes to identify the individual complications</p>
147	<p>4.4.4 章ごとの注釈</p> <p>第II章：新生物</p>	<p>4.4.4 章ごとの注釈</p> <p>第II章：新生物</p> <p>C79.9 続発性悪性新生物，部位不明</p> <p>C79.9 は悪性新生物が「播種性癌腫症」又は「全身性悪性腫瘍」(又はC79.9の包含リストに掲載されるその他の同等の用語)と記載され、かつ特定の部位が記載されていないときのみ「主要病態」として使用すべきである。</p>	<p>4.4.4 Chapter-specific notes</p> <p>Chapter II: Neoplasms</p> <p>C79.9 Secondary malignant neoplasm, unspecified site C79.9 should be used for “main condition” coding only when the malignancy is described as 'disseminated carcinomatosis' or 'generalised malignancy' (or other similar terms as described in the inclusion list for C79.9) and the specific sites are not documented.</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告（原文）
148	<p>4.4.4 章ごとの注釈 C80 部位の明示されない悪性新生物</p>	<p>4.4.4 章ごとの注釈 C80 部位の明示されない悪性新生物 C80.0 悪性新生物，原発部位不明と記載されたもの C80.9 悪性新生物，原発部位詳細不明</p> <p>C80.-は医療従事者が新生物を明確に原発部位不明又は原発性と推測される詳細不明の悪性腫瘍と記載しているときのみ「主要病態」として使用すべきである。</p>	<p>4.4.4 C80 Malignant neoplasm without specification of site C80.0 Malignant neoplasm, primary site unknown, so stated C80.9 Malignant neoplasm, primary site unspecified C80.- should be used for “main condition” coding only when the health care practitioner has clearly recorded the neoplasm as an unknown primary site or as an unspecified malignancy, assumed primary.</p>
149	<p>4.4.4 C97 独立した（原発性）多部位の悪性新生物 C80 は医療従事者が明確に部位不明と記載しているときのみ「主要病態」として使用すべきである。C97 は、医療従事者が二つまたはそれ以上の独立した原発性の悪性新生物を「主要病態」と記載しており、どちらが主要ともいえないときに使用すべきである。追加コードは、個々の悪性新生物を特定したい場合に使用することができる。</p> <p>例 9： 主要病態 ： 癌腫症 その他の病態： - 部位の明示されない悪性新生物にコードする。</p>	<p>4.4.4 C97 独立した（原発性）多部位の悪性新生物 C80、は医療従事者が明確に部位不明と記載しているときのみ「主要病態」として使用すべきである。C97 は、医療従事者が二つ又はそれ以上の独立した原発性の悪性新生物を「主要病態」と記載しており、どちらが主要ともいえないときに使用すべきである。追加コードは、個々の悪性新生物を特定したい場合に使用することができる。</p> <p>例 9： 主要病態 ： 癌腫症 その他の病態： - 部位の明示されない悪性新生物（C80） 続発性悪性新生物，部位不明（C79.9）にコードする。原発部位が不明の場合は、C80.9（悪性新生物，原発部位詳細不明）を追加コードとして使用することができる。原発性新生物がすでに存在しない場合は、第 XXI 章の新生物の既往歴のコードの中から適当なコードを選んで使用すべきである。</p>	<p>4.4.4 C97 Malignant neoplasm of independent (primary) multiple sites C80 should be used for “main condition” coding only when the health care practitioner has clearly recorded the neoplasm in such a manner. C97 should be used when ...</p> <p>Revise text: Example 9 Main condition: Carcinomatosis Other conditions: —</p> <p>Code to <u>secondary malignant neoplasm, unspecified site (C79.9)</u>, malignant neoplasm without specification of site (C80), C80.9 (Malignant neoplasm, primary site unspecified) may be used as an additional code if the primary site is unspecified. An appropriate code from Chapter XXI for personal history of neoplasm should be used for a primary neoplasm that is no longer present.</p>
150	<p>4.4 疾病統計 4.4.4 章ごとの注釈</p> <p>第 VII 章：眼および付属器の疾患</p> <p>H54.- 盲<失明>および低視力 このコードは、もし原因が記載されてあったとしても、ケアのエピソードが主に盲<失明>自身に対するものでなければ、「主要病態」に対する優先コードとしては使用しない。原因のコーディングの場合は、H54.-を任意的追加コードとして使用することができる。</p>	<p>4.4 疾病統計 4.4.4 章ごとの注釈</p> <p>第 VII 章：眼及び付属器の疾患</p> <p>H54.- <u>視機能障害及び盲<失明>（両眼又は単眼）</u> 盲<失明>および低視力 このコードは、もし原因が記載されてあったとしても、ケアのエピソードが主に盲<失明>自身に対するものでなければ、「主要病態」に対する優先コードとしては使用しない。原因のコーディングの場合は、H54.-を任意的追加コードとして使用することができる。</p>	<p>4.4 Morbidity</p> <p>4.4.4 Chapter-specific notes</p> <p><i>Chapter VII: Diseases of the eye and adnexa</i></p> <p>H54. - Blindness and low vision Visual impairment including blindness (binocular or monocular) This code is not to be used as the preferred code for the "main condition" if the cause is recorded, unless the episode of care was mainly for the blindness itself. When coding to the cause, H54.- may be used as an optional additional code.</p>
151	<p>5.8.1 定義 妊産婦<母体>死亡（Maternal death） 後発妊産婦<母体>死亡（Late maternal death）</p> <p>妊娠関連死亡（Pregnancy - related death） 妊娠関連死亡とは、死亡の原因いかにかわらず、妊娠中または妊娠終了後満 42 日未満の女性の死亡をいう。</p>	<p>5.8.1 定義 妊産婦<母体>死亡（Maternal death） 後発妊産婦<母体>死亡（Late maternal death）</p> <p>妊娠、分娩及び産じょく（褥）の期間に生じる死亡 <u>妊娠関連死亡（Death occurring during pregnancy, childbirth and puerperium）</u> Pregnancy-related death 妊娠、分娩及び産じょく（褥）の期間に生じる死亡 <u>妊娠関連死亡</u></p>	<p>5.8.1 – Definitions Maternal death ... Late maternal death ... Pregnancy-related death Death occurring during pregnancy, childbirth and puerperium A pregnancy-related death occurring during pregnancy, childbirth and puerperium is the death of a woman while pregnant or within 42 days of termination of pregnancy, irrespective of the cause of death (<u>obstetric and non obstetric</u>).</p>

	現行	事務局仮訳	WHO勧告(原文)																
		とは、死亡の原因(産科又はそれ以外)いかにかわらず、妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の女性の死亡をいう。																	
152	5.8.4 妊産婦<母体>死亡の分母 妊娠関連死亡比 (Pregnancy-related mortality ratio) $\frac{\text{妊娠関連死亡数} \times k}{\text{出生数}}$	5.8.4 妊産婦<母体>死亡の分母 妊娠、分娩及び産じょく(褥)の期間に生じる死亡比 (Ratio for death occurring during pregnancy, childbirth and puerperium) $\frac{\text{妊娠関連死亡比 (Pregnancy-related mortality ratio)}}{\text{妊娠、分娩及び産じょく(褥)の期間に生じる死亡妊娠関連死亡数} \times k}$	5.8.4 Denominators for maternal mortality Pregnancy-related mortality Ratio for death occurring during pregnancy, childbirth and puerperium $\frac{\text{Pregnancy-related Deaths occurring during pregnancy, childbirth and puerperium} \times k}{\text{Live birth}}$																
153	5.8.3 妊産婦<母体>死亡率の公表 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20-B24) および産科的破傷風 (A34) による妊産婦<母体>死亡は、第I章にコードされることに注意しなければならない。このような症例は、妊産婦<母体>死亡率に含めるように注意しなくてはならない。	5.8.3 妊産婦<母体>死亡率の公表 妊産婦<母体>死亡率を計算する場合、第15章(Oコード)にコードされない症例を妊産婦<母体>死亡率に含めるように注意しなければならない。第15章の冒頭の「除外」に記載されている分類項目も、それが間接的産科原因について4.2.16節のa)に概説されている規定に適合していれば、含まれる。ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 (B20-B24) および産科的破傷風 (A34) による妊産婦<母体>死亡は、第I章にコードされることに注意しなければならない。このような症例は、妊産婦<母体>死亡率に含めるように注意しなくてはならない。	5.8.3 Published maternal mortality rates It should be noted that maternal deaths from HIV disease (B20-B24) and obstetrical tetanus (A34) are coded to Chapter I. Care must be taken to include such cases in the maternal mortality rate. Note that when calculating maternal mortality rates, cases not coded to Chapter XV (O codes) should be included. These include those categories presented in the "Exclusion Note" at the beginning of Chapter XV, provided that they meet the specifications outlined in section 4.2.15 a) for indirect obstetric causes.																
154	7. 付録 7.1 死亡を引き起こす可能性の低い病態のリスト コード 分類項目または細分類項目 ... F69 詳細不明の成人の人格及び行動の障害 F95.0-F95.9 チック障害	7. 付録 7.1 死亡を引き起こす可能性の低い病態のリスト (4.1.9 節ルール B 参照) コード 分類項目又は細分類項目 ... F69 詳細不明の成人の人格及び行動の障害 F80-F89 心理的発達の障害 F95.0-F95.9 チック障害	7. Appendices 7.1 List of conditions unlikely to cause death (see 4.1.9, Rule B) Code Category or subcategory ... F69 Unspecified disorder of adult personality and behaviour F80-F89 Disorders of psychological development F95.0-F95.9 Tic disorders ※第3回部会資料から見え消しを修正																
155		付録 7.2 7.2 糖尿病の原因となり得る病態のリスト 糖尿病の他の疾患「による」ものとして受け入れられる因果関係 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>選ばれた原因</td> <td>引き起こされた病態</td> </tr> <tr> <td>M35.9</td> <td>E10, E14</td> </tr> <tr> <td>E40-E46</td> <td>E12, E14</td> </tr> </table>	選ばれた原因	引き起こされた病態	M35.9	E10, E14	E40-E46	E12, E14	List of conditions that can cause diabetes List of the conditions that can cause diabetes Acceptable sequences for diabetes "due to" other diseases <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">Selected cause</td> <td style="width: 50%;">As cause of</td> </tr> <tr> <td>M35.9</td> <td>E10, E14</td> </tr> <tr> <td>E40-E46</td> <td>E12, E14</td> </tr> <tr> <td>B25.2</td> <td>E13-E14</td> </tr> <tr> <td>B26.3</td> <td>E13-E14</td> </tr> </table>	Selected cause	As cause of	M35.9	E10, E14	E40-E46	E12, E14	B25.2	E13-E14	B26.3	E13-E14
選ばれた原因	引き起こされた病態																		
M35.9	E10, E14																		
E40-E46	E12, E14																		
Selected cause	As cause of																		
M35.9	E10, E14																		
E40-E46	E12, E14																		
B25.2	E13-E14																		
B26.3	E13-E14																		

2010

	現行	事務局仮訳		WHO勧告 (原文)
		B25.2	E13-E14	C25 E13-E14
		B26.3	E13-E14	D13.6-D13.7 E13-E14
		C25	E13-E14	D35.0 E13-E14
		D13.6-D13.7	E13-E14	E05- E06 E13-E14
		D35.0	E13-E14	E22.0 E13-E14
		E05- E06	E13-E14	E24 E13-E14
		E22.0	E13-E14	E80.0- E80.2 E13-E14
		E24	E13-E14	E83.1 E13-E14
		E80.0- E80.2	E13-E14	E84 E13-E14
		E83.1	E13-E14	E89.1 E13-E14
		E84	E13-E14	F10.1-F10.2 E13-E14
		E89.1	E13-E14	G10 E13-E14
		F10.1-F10.2	E13-E14	G11.1 E13-E14
		G10	E13-E14	G25.8 E13-E14
		G11.1	E13-E14	G71.1 E13-E14
		G25.8	E13-E14	K85 E13-E14
		G71.1	E13-E14	K86.0- K86.1 E13-E14
		K85	E13-E14	K86.8- K86.9 E13-E14
		K86.0- K86.1	E13-E14	M35.9 E13-E14
		K86.8- K86.9	E13-E14	O24.4 E13-E14
		M35.9	E13-E14	P35.0 E13-E14
		O24.4	E13-E14	Q87.1 E13-E14
		P35.0	E13-E14	Q90 E13-E14
		Q87.1	E13-E14	Q96 E13-E14
		Q90	E13-E14	Q98 E13-E14
		Q96	E13-E14	Q99.8 E13-E14
		Q98	E13-E14	S36.2 E13-E14
		Q99.8	E13-E14	T37.3 E13-E14
		S36.2	E13-E14	T37.5 E13-E14
		T37.3	E13-E14	T38.0- T38.1 E13-E14
		T37.5	E13-E14	T42.0 E13-E14
		T38.0- T38.1	E13-E14	T46.5 E13-E14
		T42.0	E13-E14	T46.7 E13-E14
		T46.5	E13-E14	T50.2 E13-E14
		T46.7	E13-E14	X41 E13-E14
		T50.2	E13-E14	X44 E13-E14
		X41	E13-E14	X61 E13-E14
		X44	E13-E14	X64 E13-E14
		X61	E13-E14	Y11 E13-E14
		X64	E13-E14	Y14 E13-E14
		Y11	E13-E14	Y41.3 E13-E14
		Y14	E13-E14	Y41.5 E13-E14
		Y41.3	E13-E14	Y42.0- Y42.1 E13-E14
		Y41.5	E13-E14	Y46.2 E13-E14
		Y42.0- Y42.1	E13-E14	Y52.5 E13-E14
				Y52.7 E13-E14
				Y54.3 E13-E14

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)																																																																																																																																								
		<table border="1"> <tr><td>Y46.2</td><td>E13-E14</td></tr> <tr><td>Y52.5</td><td>E13-E14</td></tr> <tr><td>Y52.7</td><td>E13-E14</td></tr> <tr><td>Y54.3</td><td>E13-E14</td></tr> </table>	Y46.2	E13-E14	Y52.5	E13-E14	Y52.7	E13-E14	Y54.3	E13-E14																																																																																																																																	
Y46.2	E13-E14																																																																																																																																										
Y52.5	E13-E14																																																																																																																																										
Y52.7	E13-E14																																																																																																																																										
Y54.3	E13-E14																																																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">2013</p> <p>付録 7.2 7.2 糖尿病の原因となり得る病態のリスト</p> <p>糖尿病の他の疾患「による」ものとして受け入れられる因果関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>糖尿病の種類</th> <th>下記の疾病「による」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>E10</td><td>B25.2</td></tr> <tr><td></td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E63.9</td></tr> <tr><td></td><td>E64.0</td></tr> <tr><td></td><td>E64.9</td></tr> <tr><td></td><td>M35.9</td></tr> <tr><td></td><td>P35.0</td></tr> <tr><td>E11</td><td>E24</td></tr> <tr><td></td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E63.9</td></tr> <tr><td></td><td>E64.0</td></tr> <tr><td></td><td>E64.9</td></tr> <tr><td></td><td>M35.9</td></tr> <tr><td></td><td>O24.4</td></tr> <tr><td></td><td>P35.0</td></tr> <tr><td>E12</td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E63.9</td></tr> <tr><td></td><td>E64.0</td></tr> <tr><td></td><td>E64.9</td></tr> <tr><td>E13</td><td>B25.2</td></tr> <tr><td></td><td>B26.3</td></tr> <tr><td></td><td>C25</td></tr> <tr><td></td><td>C78.8 (膵臓のみ)</td></tr> <tr><td></td><td>D13.6-D13.7</td></tr> <tr><td></td><td>D35.0</td></tr> <tr><td></td><td>E05-E06</td></tr> <tr><td></td><td>E22.0</td></tr> <tr><td></td><td>E24</td></tr> <tr><td></td><td>E80.0-E80.2</td></tr> </tbody> </table>	糖尿病の種類	下記の疾病「による」	E10	B25.2		E40-E46		E63.9		E64.0		E64.9		M35.9		P35.0	E11	E24		E40-E46		E63.9		E64.0		E64.9		M35.9		O24.4		P35.0	E12	E40-E46		E63.9		E64.0		E64.9	E13	B25.2		B26.3		C25		C78.8 (膵臓のみ)		D13.6-D13.7		D35.0		E05-E06		E22.0		E24		E80.0-E80.2	<p>7. Appendices ... 7.2 List of conditions that can cause diabetes</p> <p>Acceptable sequences for diabetes “due to” other diseases</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Type of Diabetes</th> <th>Due to</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>E10</td><td>B25.2</td></tr> <tr><td></td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E63.9</td></tr> <tr><td></td><td>E64.0</td></tr> <tr><td></td><td>E64.9</td></tr> <tr><td></td><td>M35.9</td></tr> <tr><td></td><td>P35.0</td></tr> <tr><td>E11</td><td>E24</td></tr> <tr><td></td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E63.9</td></tr> <tr><td></td><td>E64.0</td></tr> <tr><td></td><td>E64.9</td></tr> <tr><td></td><td>M35.9</td></tr> <tr><td></td><td>O24.4</td></tr> <tr><td></td><td>P35.0</td></tr> <tr><td>E12</td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E63.9</td></tr> <tr><td></td><td>E64.0</td></tr> <tr><td></td><td>E64.9</td></tr> <tr><td>E13</td><td>B25.2</td></tr> <tr><td></td><td>B26.3</td></tr> <tr><td></td><td>C25</td></tr> <tr><td></td><td>C78.8 (pancreas only)</td></tr> <tr><td></td><td>D13.6-D13.7</td></tr> <tr><td></td><td>D35.0</td></tr> <tr><td></td><td>E05-E06</td></tr> <tr><td></td><td>E22.0</td></tr> <tr><td></td><td>E24</td></tr> <tr><td></td><td>E40-E46</td></tr> <tr><td></td><td>E80.0-E80.2</td></tr> <tr><td></td><td>E83.1</td></tr> <tr><td></td><td>E84</td></tr> <tr><td></td><td>E89.1</td></tr> <tr><td></td><td>F10.1-F10.2</td></tr> <tr><td></td><td>G10</td></tr> <tr><td></td><td>G11.1</td></tr> <tr><td></td><td>G25.8</td></tr> </tbody> </table>	Type of Diabetes	Due to	E10	B25.2		E40-E46		E63.9		E64.0		E64.9		M35.9		P35.0	E11	E24		E40-E46		E63.9		E64.0		E64.9		M35.9		O24.4		P35.0	E12	E40-E46		E63.9		E64.0		E64.9	E13	B25.2		B26.3		C25		C78.8 (pancreas only)		D13.6-D13.7		D35.0		E05-E06		E22.0		E24		E40-E46		E80.0-E80.2		E83.1		E84		E89.1		F10.1-F10.2		G10		G11.1		G25.8
糖尿病の種類	下記の疾病「による」																																																																																																																																										
E10	B25.2																																																																																																																																										
	E40-E46																																																																																																																																										
	E63.9																																																																																																																																										
	E64.0																																																																																																																																										
	E64.9																																																																																																																																										
	M35.9																																																																																																																																										
	P35.0																																																																																																																																										
E11	E24																																																																																																																																										
	E40-E46																																																																																																																																										
	E63.9																																																																																																																																										
	E64.0																																																																																																																																										
	E64.9																																																																																																																																										
	M35.9																																																																																																																																										
	O24.4																																																																																																																																										
	P35.0																																																																																																																																										
E12	E40-E46																																																																																																																																										
	E63.9																																																																																																																																										
	E64.0																																																																																																																																										
	E64.9																																																																																																																																										
E13	B25.2																																																																																																																																										
	B26.3																																																																																																																																										
	C25																																																																																																																																										
	C78.8 (膵臓のみ)																																																																																																																																										
	D13.6-D13.7																																																																																																																																										
	D35.0																																																																																																																																										
	E05-E06																																																																																																																																										
	E22.0																																																																																																																																										
	E24																																																																																																																																										
	E80.0-E80.2																																																																																																																																										
Type of Diabetes	Due to																																																																																																																																										
E10	B25.2																																																																																																																																										
	E40-E46																																																																																																																																										
	E63.9																																																																																																																																										
	E64.0																																																																																																																																										
	E64.9																																																																																																																																										
	M35.9																																																																																																																																										
	P35.0																																																																																																																																										
E11	E24																																																																																																																																										
	E40-E46																																																																																																																																										
	E63.9																																																																																																																																										
	E64.0																																																																																																																																										
	E64.9																																																																																																																																										
	M35.9																																																																																																																																										
	O24.4																																																																																																																																										
	P35.0																																																																																																																																										
E12	E40-E46																																																																																																																																										
	E63.9																																																																																																																																										
	E64.0																																																																																																																																										
	E64.9																																																																																																																																										
E13	B25.2																																																																																																																																										
	B26.3																																																																																																																																										
	C25																																																																																																																																										
	C78.8 (pancreas only)																																																																																																																																										
	D13.6-D13.7																																																																																																																																										
	D35.0																																																																																																																																										
	E05-E06																																																																																																																																										
	E22.0																																																																																																																																										
	E24																																																																																																																																										
	E40-E46																																																																																																																																										
	E80.0-E80.2																																																																																																																																										
	E83.1																																																																																																																																										
	E84																																																																																																																																										
	E89.1																																																																																																																																										
	F10.1-F10.2																																																																																																																																										
	G10																																																																																																																																										
	G11.1																																																																																																																																										
	G25.8																																																																																																																																										

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		<u>E83.1</u>	G71.1
		<u>E84</u>	K85
		<u>E89.1</u>	K86.0-K86.1
		<u>F10.1 – F10.2</u>	K86.8-K86.9
		<u>G10</u>	M35.9
		<u>G11.1</u>	O24.4
		<u>G25.8</u>	P35.0
		<u>G71.1</u>	Q87.1
		<u>K85</u>	Q90
		<u>K86.0 – K86.1</u>	Q96
		<u>K86.8 – K86.9</u>	Q98
		<u>M35.9</u>	Q99.8
		<u>O24.4</u>	S36.2
		<u>P35.0</u>	T37.3
		<u>Q87.1</u>	T37.5
		<u>Q90</u>	T38.0-T38.1
		<u>Q96</u>	T42.0
		<u>Q98</u>	T46.5
		<u>Q99.8</u>	T46.7
		<u>S36.2</u>	T50.2
		<u>T37.3</u>	X41
		<u>T37.5</u>	X44
		<u>T38.0 – T38.1</u>	X61
		<u>T42.0</u>	X64
		<u>T46.5</u>	Y11
		<u>T46.7</u>	Y14
		<u>T50.2</u>	Y41.3
		<u>Y41.3</u>	Y41.5
		<u>Y41.5</u>	Y42.0-Y42.1
		<u>Y42.0 – Y42.1</u>	Y46.2
		<u>Y46.2</u>	Y52.5
		<u>Y52.5</u>	Y52.7
		<u>Y52.7</u>	Y54.3
		<u>Y54.3</u>	
		E14	E14
		<u>B25.2</u>	B25.2
		<u>B26.3</u>	B26.3
		<u>C25</u>	C25
		<u>C78.8 (膵臓のみ)</u>	<u>C78.8 (pancreas only)</u>
		<u>D13.6 – D13.7</u>	D13.6-D13.7
		<u>D35.0</u>	D35.0
		<u>E05 – E06</u>	E05-E06
		<u>E22.0</u>	E22.0
		<u>E24</u>	E24
		<u>E63.9</u>	E40-E46
		<u>E64.0</u>	<u>E63.9</u>
		<u>E64.9</u>	<u>E64.0</u>
		<u>E80.0-E80.2</u>	<u>E64.9</u>
		<u>E83.1</u>	E80.0-E80.2
		<u>E84</u>	E83.1
		<u>E89.1</u>	E84
		<u>F10.1-F10.2</u>	E89.1
		<u>G10</u>	F10.1-F10.2
		<u>G11.1</u>	G10
		<u>G25.8</u>	G11.1
			G25.8

	現行	事務局仮訳	WHO勧告 (原文)
		E40 – E46	G71.1
		E63.9	K85
		E64.0	K86.0-K86.1
		E64.9	K86.8-K86.9
		E80.0 – E80.2	M35.9
		E83.1	O24.4
		E84	P35.0
		E89.1	Q87.1
		F10.1 – F10.2	Q90
		G10	Q96
		G11.1	Q98
		G25.8	Q99.8
		G71.1	S36.2
		K85	T37.3
		K86.0 – K86.1	T37.5
		K86.8 – K86.9	T38.0-T38.1
		M35.9	T42.0
		O24.4	T46.5
		P35.0	T46.7
		Q87.1	T50.2
		Q90	X41
		Q96	X44
		Q98	X61
		Q99.8	X64
		S36.2	Y11
		T37.3	Y14
		T37.5	Y41.3
		T38.0 – T38.1	Y41.5
		T42.0	Y42.0-Y42.1
		T46.5	Y46.2
		T46.7	Y52.5
		T50.2	Y52.7
		Y41.3	Y54.3
		Y41.5	
		Y42.0 – Y42.1	
		Y46.2	
		Y52.5	
		Y52.7	
		Y54.3	